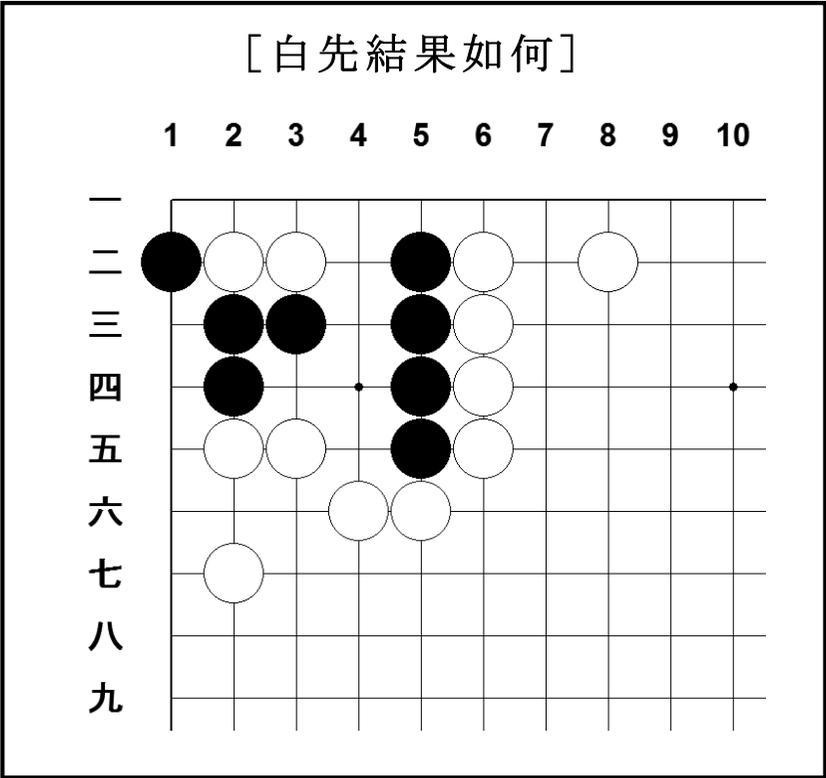


第 8 号



詰碁 教えて パンダ先生



プロ棋士も愛用「死活の神様パンダ先生」搭載！
どんな着手にも応手するので納得いくまで勉強できます。

登録時にアプリ内で使えるパンダコイン10コインをプレゼント！

「詰碁 ～教えてパンダ先生～」を
QRコードで簡単ダウンロード

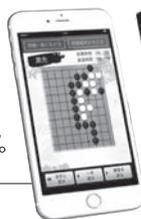
別途通信料がかかります。詰碁の購入にはパンダコインが必要です。

毎週
問題掲載！

毎週1問
お試し問題
無料



iPhone、Androidでも
お楽しみいただけます。



iPhone版



Android版

パンダネット

検索

www.pandanet.co.jp

お問い合わせ・ご連絡：

通話料無料 イーナ イゴ サ ロン

0120-17-1536

(平日・土曜 10:00～12:00 / 13:30～17:00)

世界最大級のインターネット囲碁サロン



パンダネット®

株式会社 パンダネット 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル

「石の響」第8号発行によせて

東日本大学OB・OG囲碁会会長 中園 清三

3年おきに発行している本誌も、第8号を迎えました。前回の発行から今までの間に、囲碁界の様子もだいぶ変わってきました。

まず、コンピュータの棋力がアップしたことです。すでにアマ高段の域に達しているようですので、インターネット対局も含め、パソコンで棋力アップしている人が増えているように思います。

また近年、大学で単位の取れる授業が実施され、全国的に増えていく流れにあります。今後はさらに増えることが予想されます。

さらに本誌では、各校の様子がわかる記事や行事の結果を載せて広報を図っておりますが、ホームページの開始により、今後は発刊方法が変わってくると思われます。

以上のように環境が変わっている中、本会ではいろいろな行事で対面で打つことを通じて、親睦を深め棋力アップを図ろうとしております。今後も懇親を深めるべく活動していきたいと考えています。

会員の増加と行事の充実をはかることにより、さらに本会が盛り上がることを期待しています。

－目次－

「石の響」第7号発行にあたって	1
東日本大学OB・OG囲碁会会員一覧	3
〔活動報告〕第25回東日本大学OB・OG団体戦ー	4～7
〔活動報告〕第22回関西との親善交流戦ー	8～12
〔活動報告〕第12回日韓大学OB・OG交流戦	13～18
〔活動報告〕第24回現役との親善交流戦ー	19・21
東日本地域大学OB・OGプロ棋士一覧	22
東日本大学OB・OG囲碁会会員の活動	23～26
東日本大学OB・OG囲碁副会長会 三浦浩さんを偲ぶ	27～34
東日本大学OB・OG囲碁会役員一覧	34
西日本大学OB・OG囲碁会の活動報告	35～36
東日本地域の学生囲碁連盟の活動	37～40
東日本大学OB・OG囲碁会として ホームページ開設無料コミュニティサービス開始を計画と	41～43
大学囲碁授業一覧	44
表紙・問題の解答	48
編集後記	48
奥付	48

－広告目次－

サンサン	表4	初台囲碁クラブ	45
パンダネット	表2	囲碁サロンとんぼ	45
サンシャインシティ囲碁サロン	表3	いずみ囲碁ジャパン	45
西荻囲碁サロン『周』	45	新宿囲碁センター	46
津田沼囲碁クラブ	45	金井囲碁サロン	46
石心	45	わしや	47
札幌囲碁学院	45	ダイヤモンド囲碁サロン	47
池袋囲碁会館	45		

東日本大学OB・OG囲碁会会員一覧

NO.	会 員 名	NO.	会 員 名
1	青山学院大学	20	東京女子大学
2	お茶の水女子大学	21	東京都立大学
3	小樽商科大学☆	22	東京理科大学
4	神奈川大学	23	東北大学
5	慶應義塾大学	24	東洋大学
6	駒澤大学	25	日本大学
7	埼玉大学	26	歯科大学連合
8	芝浦工業大学	27	日本女子大学
9	上智大学	28	一橋大学
10	高崎経済大学	29	防衛大学校
11	千葉大学	30	法政大学
12	千葉工業大学	31	北海道大学
13	中央大学	32	明治大学
14	朝鮮大学校	33	山梨大学
15	筑波大学	34	横浜市立大学
16	電気通信大学	35	横浜国立大学
17	東京大学	36	立教大学
18	東京教育大学	37	早稲田大学
19	東京工業大学		

■ 活動報告 ■

13人制は中央大と明治大 5人制は小樽商大が優勝

— 第25回東日本大学OB・OG団体戦 —



第二十五回東日本大学OB・OG団体戦（主催＝東日本大学OB・OG囲碁会）が一月十八日、市ヶ谷・日本棋院で開催された。これは、東日本地域にある大学のOB・OGによる団体戦だ。参加したのは、一チーム十三人制が三十四チーム、五人制が八チームで、合わせて五百名近い選手が一堂に会した。

手合割は基本的には互先だが、女性選手は男性選手に対して自由置石のハンデ戦だ。対局は、リーグ戦四回戦が行った。十三人制はA・B二つのブロックに分かれるが、Aには前回の両ブロック優勝・準優勝校など五チームがシードされるので、こちらで優勝する方がたいへんだ。

十六チーム参加した十三人制Aは、三戦全勝対決で昨年優勝の法政大学に七対六で辛勝した中央大学が優勝した。中大は、三回戦の東京大学戦も七対六の接戦だった。

「万全のメンバーでは無かったので優勝は意外」だと語る中大主将の村上深さんは、接戦を制しての優勝を喜んでいた。

Bには十八チームが参加したため、四戦全勝は明治大学と早稲田大学の二チームだった。成績を集計した結果、対戦相手の勝ち点合計の差で明大が優勝した。

八チームが参加した五人制は、昨年優勝の東京外国語大学と小樽商科大学が三勝一敗で並んだ。対戦相手の勝ち点合計も同じという大接戦だったが、自チームの勝ち数の差で小樽商大の優勝が決まった。

本大会は親睦が目的で、大学時代に学生リーグで戦った碁友同士が旧交を温める場にもなっている。また来年の再会を約束して大会は幕を閉じた。

[左合 比登史／週刊「碁」掲載]



東日本大学OB・OG囲碁団体戦成績表

	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回
青山学院大	—	—	—	C1	C1	A12	A11	—	B13	B11	B14	A9	—	B11	B16	B10	A14	B13	—
茨城大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C9	C3	C8	C5	C1	C2	C1	C3	C3	C5
宇都宮大	—	—	—	C2	C6	C7	—	C6	C7	C7	C12	C9	—	—	—	—	—	—	—
小樽商科大	—	—	—	C3	C4	C2	C3	C3	C8	C5	C7	C5	C3	C8	C6	C5	C9	C6	C1
お茶の水女子大	B9	A16	A12	B15	B14	B16	B16	B16	C6	C10	C10	C10	C7	C10★	—	—	C7	C8	C6
神奈川大	A8	A12	B7	B9	B8	B10	B7	B6	A11	A8	A14	C7	B11	B9	A6	B5	B15	A11	A13
学習院大	A7	B14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C8	C2	C4	C8
九州大	—	—	—	—	—	—	—	—	C2	C8	C6	C4	C6	—	—	C4	—	—	—
慶應義塾大	B5	B3	A4	B2	A2	B4	B4	B4	B4	A4	B3	B4	A6	A3	B1	A4	B1	A3	B7
慶大女子部	—	—	—	C13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
駒澤大	B12	B10	A6	A12	B12	A14	A14	B8	A9	A14	B16	A13	B4	B10	A9	B15	B3	B7★	B4
埼玉大	B10	B15	B14	A15	A12	B15	B11	—	B15	A12	A12	B14	B16	A7	A14	A14	B10	B16	B11
芝浦工業大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C1	C1	C3 C5	B7	A11	B9	A8	A14
上海連合	—	—	—	C10	C2	C1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上智大	B11	A5	B12	B10	A9	A8	B10	B12	A6	B8	B4	A11	B7	A8	B8	B7	A13	B11	A12
専修大	—	—	—	C4	C5	A13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
台北	—	—	—	C9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高崎経済大	A10	A14	B15	B14	B13	A15	A15	A15	B11	A7	A9	A12	A9	A15	B15	A15	B12	A15	B14
千葉大	A6	A6	B4	A8	A7	B11	A6★	B5	A12	B6	B13	B8	A7	C6	B9	A5	B6	B19	A11
千葉大女子混成	—	—	—	—	—	—	C7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千葉工業大	A16	B12	A13	B12	B11	B14	B8	A12	B16	B12	B8	A6	A15★	B14	A10	B12	B13	B20	B18
中央大	A1★	B1	B1	B3	B1	B2	A1	B1	B1	A1	A1	A1	A2	B1	A1	A3	A8	A6	A1
中央大女子部	—	—	—	C14	C11	C8	C4	C1	C5	C1	—	—	—	C11	—	C7	C6☆	C7	—
朝鮮大	A15	—	A16	A16	B15	C4	B14	B14	C4	C3	C9	—	—	C7	—	C6	C8	B15	B17
筑波大	B14	B11	—	A13	A14	A11	A12	A9	A13	B16	A6	B15	B12	B7	B14	B8	B16	B5	A9
電気通信大	A9	B16	B10	A14	B7	A10	A10	A11	B7	B9	A10	B13	B8	B5	B6★	A8	B8	B2	A5
東京大	B1	A2	A1	A2	B3	B1	B1	A5	A1	B1	A2	B2	B1	A1	A4	A1	A3	A2	A2
東京大女子部	—	—	—	C8	C10	C5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京外国語大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C1	—	C2
東京学芸大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C1 C2	B5	B3	A5	B12	B9	—	—
東京教育大	B3	A11	A9	B13	A10	A6★	B13	B9	B12	B10	B9	A14	B10	B16	A15	B16	A16	B12	B15

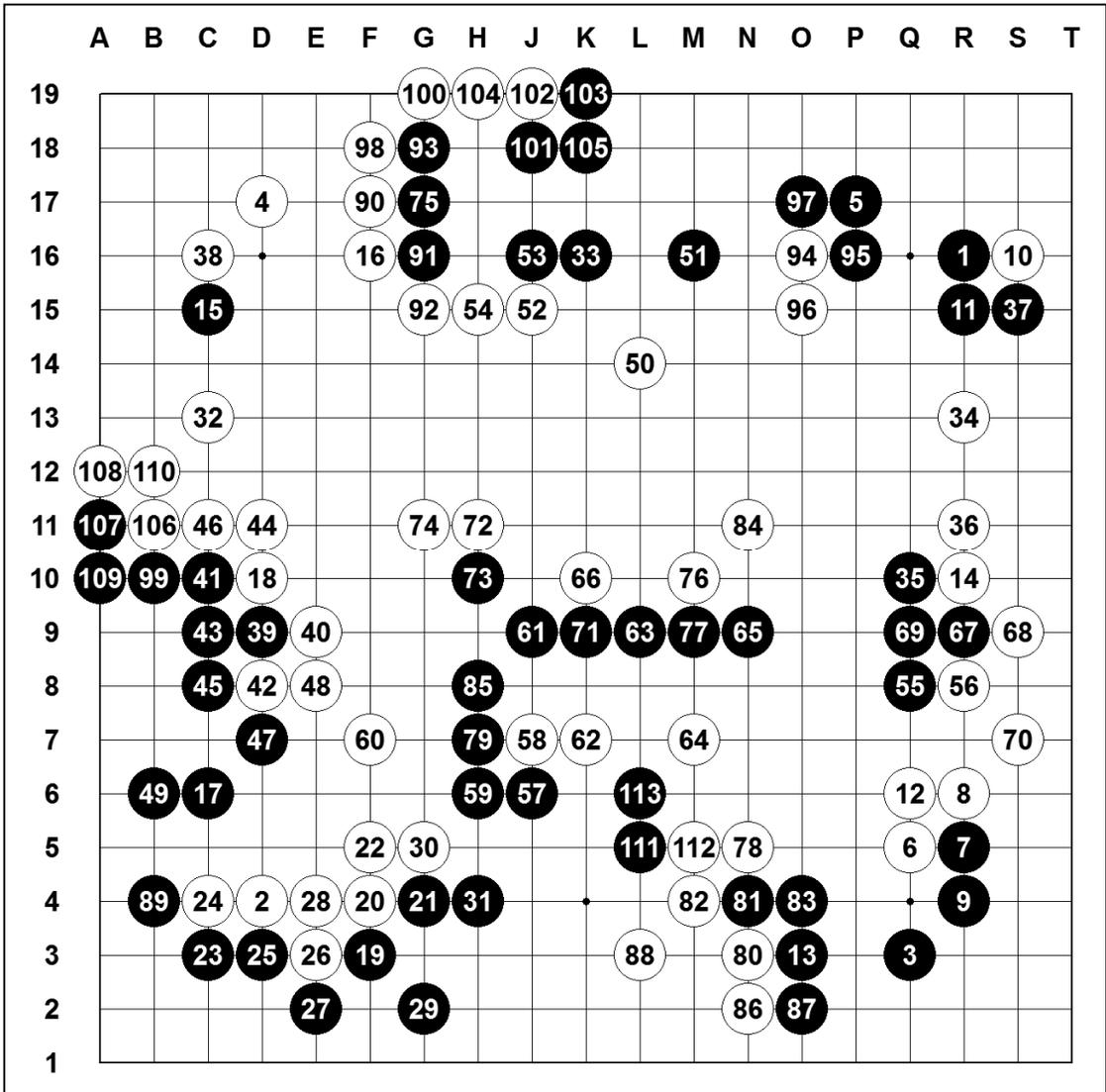
	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回
東京工業大	A13	B7	B ⁸ ★	B6	B10	B9	B6	A7	A10	A6	A13	B10	B14	A12	A12	B18	A15	A12	B10
東京国際大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C1	C3	C4☆	C5☆	C3☆
東京歯科大	—	—	—	—	—	—	C5	C5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京女子大	A11	B13	B16	A ¹¹ ★	A16	A16	A16	A14	A15	A15	B15	B16	A16	B13	A16	B20	A11	A16	B12
東京都立大	A12	A8	A8	A10	A ⁸ ★	B12	A13	A4	A14	B14	B11	A5	B13	A13	B13	A9	B7	A5	B5
東京理科大	B4	B4	B3	A7	A11	A4	A4	A3	A8	B4	A4	A7	A10	B4	B3	A12	A7	A7	B3
東北大	—	B6	B6	B1	B2	A3	A2	A2	B3	A3	A ³ ★	B6	A3	B2	A7	A2	A1	A4	A4
東洋大	B7	A13	B11	B16	B9	A9	B9	B15	A16	B ¹³ ★	A15	B12	B15	A14	B18	B11	B18	B14	B6
日本大	A5	A ³ ★	B2	A3	A5	A2	B5	B3	B2	B7	B6	A3	A4	A4	A8	A7	A4	B6	A7
日大文理学部	—	—	—	—	—	—	—	C2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本歯科大	—	—	—	C6	A13	—	B15	A16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
歯科大連合	—	—	—	—	—	—	—	—	B10	B15	A11	A16	A11	A11	B17	B17	B14	B18	A15
日本女子大	—	—	B13	C11	C8	—	—	—	—	—	C11	C6	C8	C9	C5	B19	B17	B17	C4
日・明・法女子連合	—	—	—	—	—	—	C8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日明法立女子連合	—	—	—	—	—	C10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一橋大	A3	B8	A10	A6	A6	B7	A9	B ¹⁰ ★	A7	B2	B10	B9	B6	B6	B5	B3	A10	B4	B9
防衛大	A14	A10	A5	A9	B4	A5	A8	A8	B9	A9	A8	A ¹⁰ ★	B5	B12	B11	B4	B5	B8	B8
法政大	A4	A4	B5	B4	A4	B3	A5	B7	A5	A2	B2	A2	B2	B3	A5	B1	A2	A1	A3
法・立・明女子連合	—	—	—	C12	C12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北海道大	—	A7	A7	A5	B6	B5	A7	—	A ³ ★	B5	B7	A8	A8	B8	B4	B6	A9	B1	A6
明治大	B2	B2	A3	A4	A3	A7	B2	B2	A4	B3	B5	B3	A5	A9	B2	A6	B2	A10	B1
明大経営学部	—	—	—	—	—	—	—	C7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
明大政経学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C10	—	—
山形大	—	—	—	—	—	—	—	—	C3	C2	C5	C2	C4	C2	C4	A16	C5	A14	A10
山梨大	—	—	—	C5	C7	C3	C6	A10	B14	A13	A16	B11	A13	A16	B10	B14	A12	B9	A16
横浜国立大	B6	B9	B9	B7	B5	B6	B3	A6	B5	A10	A7	A4	A12	A10	A13	B ² ★	A6	B3	A8
横浜市立大	B13	A9	A15	B8	B16	B8	C2	A13	B6	A11	A5	B7	B9	A6	A11	A13	B ¹¹ ★	A13	B13
立教大	B8	B5	A11	B11	A15	B13	B12	B11	B8	A16	B12	A15	A14	B15	A3	B13	B4	A9	B ¹⁶ ★
早稲田大	A2	A1	A2	A1	A1	A1	A3	A1	A2	A5	B1	B1	A1	A2	A2	A10	A5	B10	B2
早大理工学部	—	—	—	C7	C3	C9	C1	C4	C1	C6	C4	C3	C2	C4	C3	C2	C1	C2	C7
混成	—	A15	A14	B5	B ¹⁵ C9	C6	—	B ¹³ C8	—	C4	C8	—	—	C12	—	—	—	—	—

※数字は順位、★印は幹事校、☆印は混成チーム。

第25回東日本大学OB・OG団体戦8将戦 2015.1.18

黒 中川 真志 (慶應義塾大学) 白 笹子 理紗 (早稲田大学)

先番6目半コミ出し 114手以下略 黒2目半勝ち



[講評・上村陽生九段]

白34は37にハイたい。ハワないとつらい。

黒35と67は決めないでよく。もったいない。白地として認められないところだったのに、固めた。

黒51は52にコスむほうがふつう。黒61とそんなにしなくても、62にハネで十分だった。

全体的に単調。白が押されていて、黒が逃げ切りました。

■活動報告■

ホームの西軍が勝利

—第22回東西大学OB・OG交流戦—



第二十二回東西大学OB・OG交流戦が五月二十三日、大阪市・アルプス江坂囲碁センターで開催された。これは、大学OB・OGの東西対抗ともいべきものだ。

参加した選手は、東軍が中園清三さん（法政大学）や村上深さん（中央大学）をはじめとする東日本大学OB・OG囲碁会のメンバー。迎え撃つ西軍は、西村修さん（神戸大学）率いる西日本大学OB・OG囲碁会のメンバーだ。いつもよりタイトル経験者が少ないとはいえ、県代表クラスが多数参加していた。

今回は、二十代を中心とした若手の参加が増えたのが特徴だ。回を重ねてきたイベントなので、ベテラン選手と若手選手との年齢差は五十歳もある。

競技は、相手をかえて二回戦を行った。コミが六目で、ジゴは引き分けというのが珍しい。

大接戦となった一回戦。結果は、十三勝十一敗一ジゴで西軍が競り勝った。続く二回戦は、西軍が十五勝十敗で大勝し、地元の利を生かした西軍が勝利した。

年に一回開催される本交流戦の会場は、東京と大阪で交互に開催されているが、このところ西軍が三連勝中だ。これで通算成績は、西軍の十一勝九敗二引分けとリードを広げた。

当初は、東西の大学OB・OGが交流する場としてスタートしたものだ。しかし、日韓親善戦が行われるようになった最近では東西が協力し、全日本としての協力関係を強める場にもなってきているという。

対局終了後には、同じ会場で懇親会を行い、交流を深めた。中には、懇親会終了後も会場に残り、熱心に対局の検討をする姿も見られた。

[左合 比登史／週刊「碁」掲載]



東西学生OB・OG交流戦成績表

実施日	関東代表校	成績	関西代表校
第1回 1992.7.19 京都	東京大学	6対6	大阪大学
第2回 1993.7.10 東京	早稲田大学	16対9	大阪市立大学
第3回 1994.2.19 京都	早稲田大学	21対19	京都大学
第4回 1995.7.15-16 神奈川	東京大学	13対17	大阪府立・京都大学
第5回 1996.1.20-21 京都	早稲田大学	20対20	京都・立命館大学
第6回 1997.7.26-27 東京	中央・東京大学	19対15	神戸・京都大学
第7回 1998.5.23-24 大阪	早稲田・中央大学	18対22	大阪・大阪府立大学
第8回 1999.7.3-4 東京	中央・東京大学	18対22	関西学院・京都大学
第9回 2000.5.27 名古屋	23校31名	24対36	22校31名
第10回 2001.5.26 名古屋	22校29名	25対33	19校31名
第11回 2002.5.25 東京	24校33名	27対31、2持碁	16校32名
第12回 2003.5.24 大阪	23校31名	22対37、1持碁	15校32名
第13回 2004.5.22 東京	18校34名	41対18、1持碁	16校32名
第14回 2005.5.28 大阪	17校29名	26対33	16校30名
第15回 2006.5.27 東京	22校32名	37対23	16校31名
第16回 2007.5.26 大阪	17校24名	27対20、1持碁	19校28名
第17回 2008.5.24 東京	23校30名	29対26、1持碁	15校28名
第18回 2010.5.22 大阪	21校28名	29対27	17校28名
第19回 2012.5.26 東京	23校30名	33対18、1持碁	14校26名
第20回 2013.5.25 大阪	18校26名	20対32	17校28名
第21回 2014.5.24 東京	18校25名	22対24	14校26名
第22回 2015.5.23 大阪	17校27名	21対28、1持碁	18校29名

※西軍は第9回から関西・中部選抜に、第13回から西日本選抜に。2009年は新型インフルエンザのため、2011年は東日本大震災や福島原発事故の影響で中止。

第 2 2 回 東 西 大 学 O B ・ O G 交 流 戦 対 戦 表

席次	1 回 戦		東 日 本			2 回 戦		
	西 日 本					西 日 本		
1	西村 修	神戸	○	中園 清三	法政	○	関西医科 松本 渉	
2	行松 靖	神戸	●	村上 深	中央	○	神戸 西村 修	
3	河井 正夫	大阪府立	○	太田 匡彦	早稲田	●	大阪教育 深山 雅章	
4	深山 雅章	大阪教育	●	曾我部 敏行	駒澤	○	桃山 徳弘 晴彦	
5	笹田 昭二	大阪教育	○	片岸 完次郎	明治	●	京都 室 恒太郎	
6	小野 拓馬	立命館	●	村上 裕貴	法政	○	龍谷 奈倉 洋	
7	吉田 周一	京都	○	志茂 到	明治	●	立命館 小野 拓馬	
8	織田 勉	大阪	○	松多 洋一郎	東京	○	岡山 横山 絵里	
9	池田 吉行	関西学院	○	寺田 浩	日本	○	京都 向井 寛行	
10	谷水 久利雄	京都	○	湯浅 英之	明治	○	関西学院 池田 吉行	
11	後 哲夫	大阪	○	魚谷 保	東北	●	京都 谷水 久利雄	
12	奥井 清貴	関西	●	菊池 友信	法政	●	大阪 後 哲夫	
13	室 恒太郎	京都	●	山本 興治	慶応	○	大阪府立 河井 正夫	
14	徳弘 晴彦	桃山	○	杉江 夏彦	東京	○	大阪市立 菊池 解	
15	梅本 勝巳	甲南	○	清水 克郎	横浜国立	●	関西 森田 英二	
16	森田 英二	関西	●	柳原 賢	東北	—		
17			—	森 哲哉	東北	●	甲南 梅本 勝巳	
18	横山 絵里	岡山	●	内藤 由起子	お茶の水	—		
19			—	坂本 光敏	明治	●	名古屋 石橋 武八	
20	菊池 解	大阪市立	●	上田 治	埼玉	●	大阪工業 大東 邦雄	
21	石橋 武八	名古屋	△	輪島 泰洋	高崎経済	●	大阪市立 加藤 泰一郎	
22	中川 英明	関西	●	忽那 学	防衛	●	山口女子 澤田 純子	
23	加藤 泰一郎	大阪市立	●	信永 恕平	東京教育	●	関西 中川 英明	
24	吉村 充隆	滋賀	●	児島 総枝	東京女子	●	桃山 堀内 良昭	
25	伊藤 伸昭	大阪府立	●	左合 比登史	東洋	○	滋賀 吉村 充隆	
26	澤田 純子	山口女子	○	村松 来多郎	防衛	●	大阪府立 西井 勉	
27	奈倉 洋	龍谷	●	榎本 弘幸	中央	●	大阪教育 笹田 昭二	
		13	11、1 持碁			10	15	

総計東日本21－28、1持碁

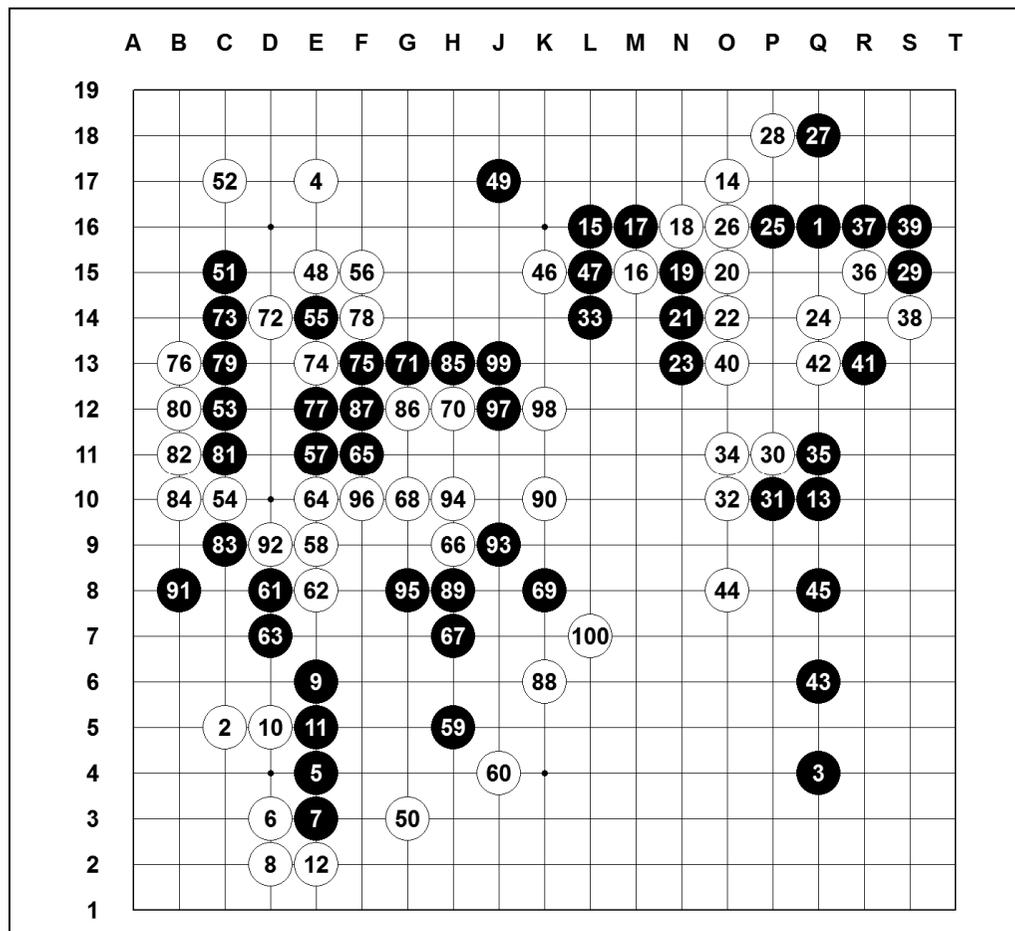
持ち時間各 1 時間、先番 6 目コミ出し、持碁は引き分け

第22回東西大学OB・OG交流戦 2015.5.23

黒 杉江 夏彦 (東京大学) 白 徳広 晴彦 (桃山学院大学)

先番6目半コミ出し 183手以下略 黒3目勝ち

第1譜 (1~100)



[講評・上村陽生九段] 白22まで上辺にできた白の厚みが生きるかどうかポイント。白16は感じが出ておもしろい。

黒25ノゾキは打たないもの。上辺が違って来る。白28も決めないもの。

黒29は気持ち悪い。コスんでハネツギが相場。

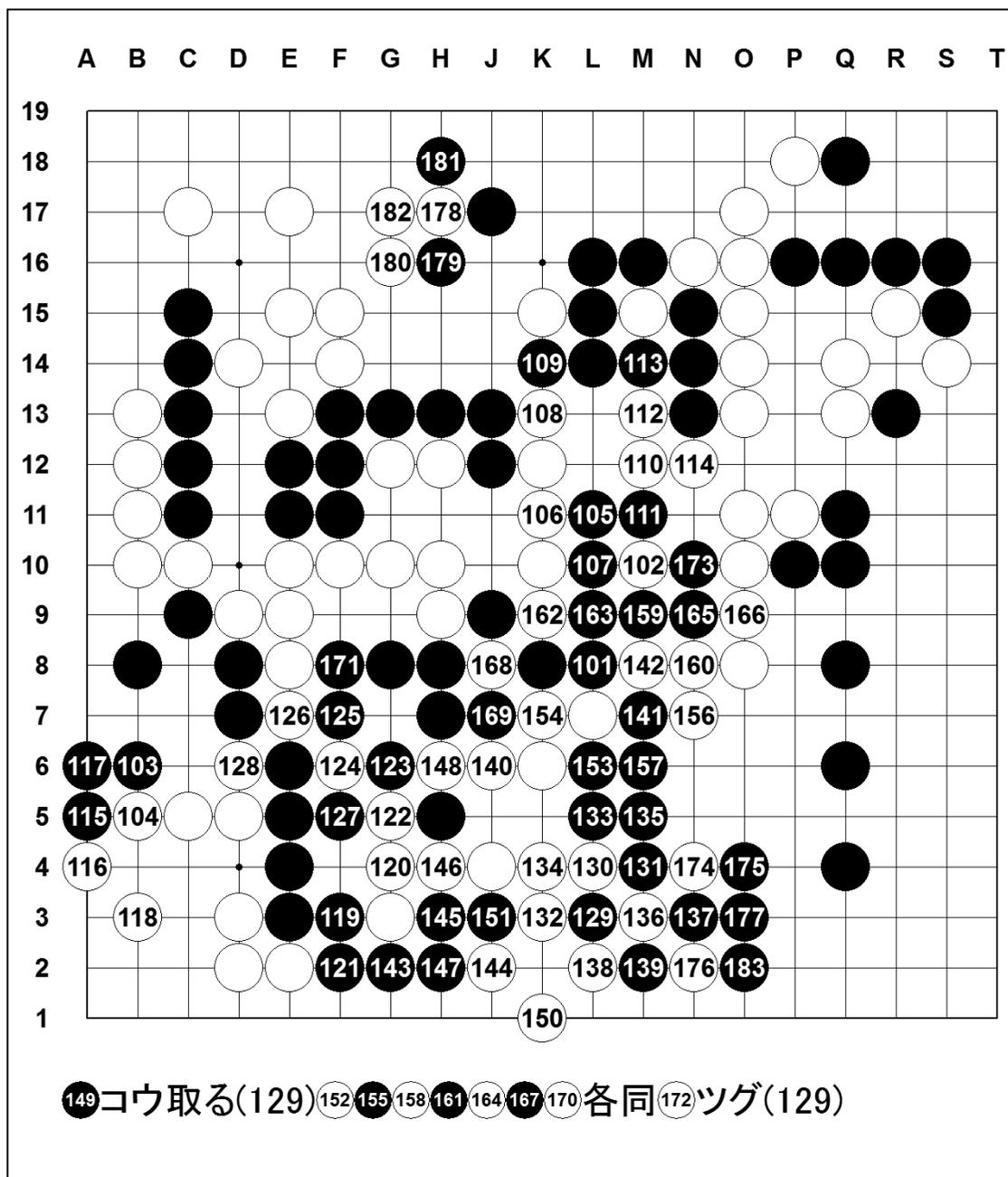
白32はノビがふつう。黒は34に切るのもあったかもしれない。白34まで白のいい分が通ったけれど、物足りない。形勢はいい勝負。

白58はツケノビで競っていく。黒61は63のコスミがふつう。白62と1回押されてしまった。

白66は89か67とヨセたい。

白はQ3の右下ツケにまわりたいところだったが、左辺からもつれた。からくも黒が勝ちをものにした。

第2譜 (101~182)



大阪でホームの日本が勝利

一 第十二回韓国との親善交流戦



「第十二回日韓大学OB・OG親善交流戦」が三月七日、大阪市のアルプス江坂囲碁センターで開催された。これは、毎年日韓交互で行われているもので、今回は日本で開催する番だった。

参加した選手は、韓国が韓国大学囲碁連盟（会長＝崔琮祐・高麗大学）、日本は全日本大学OB・OG囲碁会（会長＝吉田晃・東京大学）のメンバーだ。今回来日した韓国の選手は、女性十名を含む三十八名で、これまでの倍の規模だった。

日本では大学OB・OGは全日本大学OB・OG囲碁会、現役の学生は全日本学生囲碁連盟と組織が別になっている。韓国大学囲碁連盟の場合は、大学OB・OGと現役の学生の双方が入っている。

開会式では、韓国側は崔琮祐会長、日本側は西日本大学OB・OG囲碁会の河井正夫会長（大阪府立大学）が挨拶した。河井さんは、スピーチを韓国語で行った。崔さんの挨拶は、日本側の担当者にまで気配りをしていたのが印象的だった。

日韓ともに、選手の中にはタイトルホ

ルダークラスが数名おり、県代表クラスも多数参加していた。対局は、相手を変えて二回戦を行った。持ち時間は一時間で、秒読みは30秒が三回つく。

会場では、日韓のプロ棋士も観戦していた。韓国からは韓国棋院の李相勳九段が、日本側からは関西棋院の端山省三七段と金秉民七段が来場していた。端山七段は、大阪工業大学のOBでもある。

一回戦は、一進一退の大接戦が続いた。一局を残して日本が一つ負け越していたが、最終局に勝って、十九対十九のイーブンとした。

昼食をはさんで行われた二回戦は、日本が先行して順調に勝ち星を重ねていった。終わってみれば、二十四対十四という予想外の大差で日本が勝利した。これで、通算成績を日本の三勝六敗三引き分けとし、少し挽回した。

韓国選手の中では、咸泳雨さん（世翰大学）が中園清三さん（法政大学）と江村棋弘さん（同志社大学）という二人のタイトル経験者を破ったのが目を引いた。咸さんは、世界学生王座戦優勝、第一回ワールドマインドスポーツゲームズのオープン個人戦銀メダルの実績を持つ。

対局終了後には懇親会が開かれた。このイベントでは、懇親会も親睦を深める重要な行事として位置づけられており、二次会までは公式行事になっている。

[左合 比登史／週刊「碁」掲載]



韓国の代表団の選手達



日本の代表団の選手達

第 1 2 回日韓大学 O B ・ O G 親善 囲碁 交流 戦 対 戦 表

席次	1 回 戦		韓 国				2 回 戦	
	日 本						日 本	
1	西村 修	神戸	○	申 秉湜	ソウル	○	大阪府立	河井 正夫
2	脇元 安	九州	●	金 元泰	韓国外国	●	神戸	西村 修
3	太田 匡彦	早稲田	●	李 雄基	高麗	●	駒澤	曾我部 敏行
4	柏井 大	立命館	○	郭 雄求	崇実	○	東京	松多 洋一郎
5	岩井 理直	京都	○	安 秉運	漢陽	●	九州	脇元 安
6	小野 拓馬	立命館	○	安 成文	ソウル	●	東北	深美 修一
7	吉田 晃	東京	●	朴 章禹	弘益	○	関西医	松本 涉
8	寺田 浩	日本	●	權 炳勳	全北	●	神戸	行松 靖
9	高橋 晃一郎	大阪市立	○	蔡 永奭	延世	○	明治	片岸 完次郎
10	村上 深	中央	●	梁 世模	高麗	●	立命館	柏井 大
11	江村 棋弘	同志社	●	尹 廣善	仁荷	●	中央	村上 深
12	田口 哲朗	大阪	○	金 聖仁	明知	○	日本	寺田 浩
13	中園 清三	法政	○	咸 泳雨	世翰	○	同志社	江村 棋弘
14	木村 直登	立命館	○	柳 昇希	明知	○	神戸	西田 康英
15	奥井 清隆	関西	●	金 達洙	中央	●	一橋	玉置 節丸
16	曾我部 敏行	駒澤	●	林 春基	東国	●	明治	湯浅 英之
17	奈倉 洋	龍谷	○	安 秉學	成均館	●	京都	岩井 理直
18	深美 修一	東北	○	金 泰延	高麗	●	桃山学院	徳弘 晴彦
19	西田 康英	神戸	○	金 彩林	明知	○	龍谷	奈倉 洋
20	徳弘 晴彦	桃山学院	●	曹 君煥	高麗	●	立命館	木村 直登
21	芥藤 和行	大阪外国語	○	朴 徳洙	高麗	●	早稲田	太田 匡彦
22	田中 誠	大阪	○	金 眞煥	延世	●	京都	服部 清彦
23	池田 吉行	関西学院	●	金 範俊	建国	●	岡山	坂本 秀誠
24	西崎 保彦	北海道	●	李 成兼	明知	○	関西	大和 英喜
25	魚谷 保	東北	○	徐 載政	高麗	●	関西学院	池田 吉行
26	阪本 清士	関西学院	○	張 忍知	世翰	●	北海道	西崎 保彦
27	向井 寛行	京都	●	張 慧妍	明知	○	東北	魚谷 保
28	山根 晃	大阪府立	●	崔 琮祐	高麗	○	防衛	忽那 学
29	坂本 秀誠	岡山	●	李 相衍	漢城	●	大阪外国語	芥藤 和行
30	左合 比登史	東洋	●	金 鐘範	延世	●	大阪	田中 誠
31	中尾 栄一	大阪工業	○	李 度垞	延世	●	中央	榎本 弘幸
32	澤田 純子	山口女子	○	宋 貞淑	忠南	●	京都女子	徳弘 広美

席次	1回戦		韓 国				2回戦	
	日 本						日 本	
33	忽那 学	防衛	●	鄭 守眞	忠南	●	大阪工業	中尾 栄一
34	徳弘 広美	京都女子	●	高 貞男	漢陽女子	○	山口女子	澤田 純子
35	松井 茂樹	滋賀	○	申 吉洙	韓国放送 通信	○	東京女子	児島 総枝
36	服部 能子	京都外国語	●	朴 愛英	梨花女子	●	京都	大崎 可織
37	大崎 可織	京都	●	金 香禧	東義科学	●	滋賀	松井 茂樹
38	児島 総枝	東京女子	○	李 賢美	忠南	○	京都外国語	服部 能子
		19	19			14	24	

韓国 33 対 43 日本

持ち時間各60分、秒読み30秒3回、先番6目半コミ出し
下線は女性

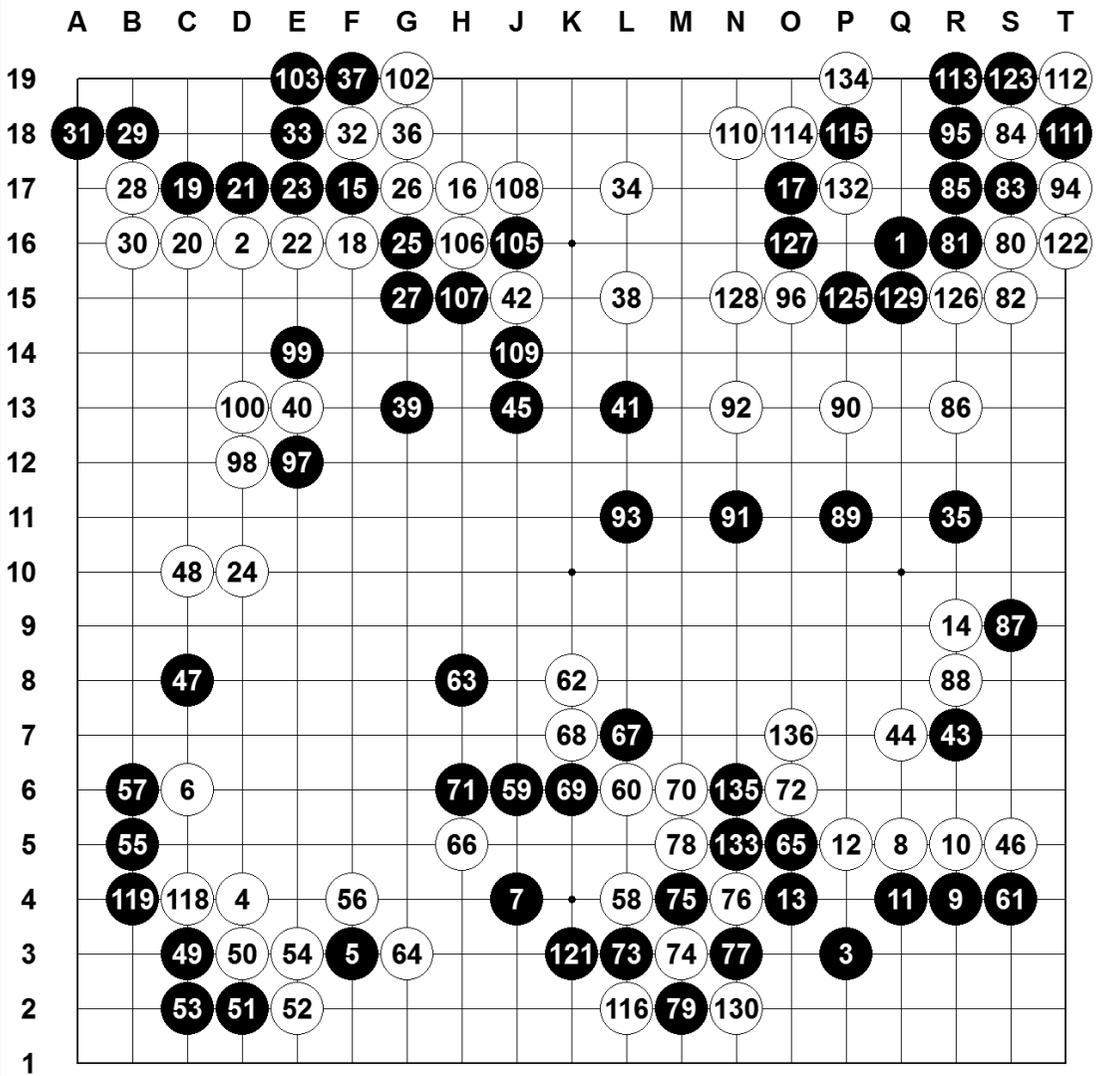
韓との親善交流戦成績表

実施日	場所	成績/日本対韓国
第1回 2004.2.7	ソウル	12対18
第2回 2004.11.6	東京	13対7
第3回 2005.11.19	ソウル	14対16
第4回 2007.2.24	東京	17対17
第5回 2008.2.16	ソウル	17対19
第6回 2009.2.14	大阪	19対19
第7回 2010.6.5	ソウル	15対19
第8回 2011.2.19	東京	20対16
第9回 2012.3.3	忠南瑞山	19対19
第10回 2013.3.2	東京	18対22
第11回 2014.3.1	ソウル	19対31
第12回 2015.3.7	大阪	43対33

第12回日韓大学OB・OG親善囲碁交流戦 2015.3.7

黒 李 雄基 (高麗大学) 白 曾我部 敏行 (駒澤大学)

先番6目半コミ出し 137手以下略 白中押し勝ち

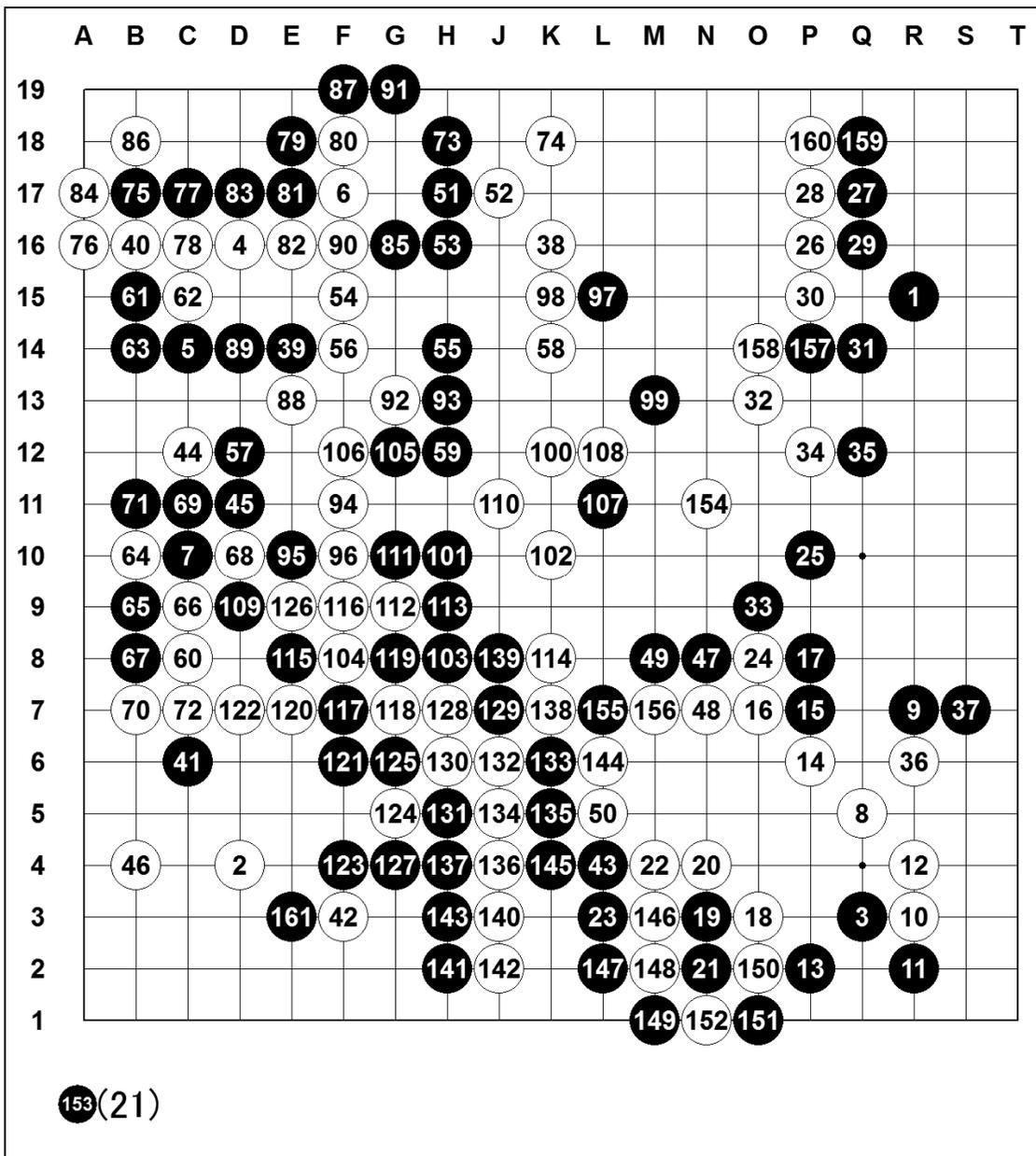


●101コウ取る(75)○104●117○120各同○124(111)●131コウ取る(75)

第12回日韓大学OB・OG親善囲碁交流戦 2015.3.7

黒 湯浅 英之 (明治大学) 白 林 春基 (東国大学)

先番6目半コミ出し 162手以下略 黒中押し勝ち



■ 活動報告 ■

接戦の末OB・OGが勝利

— 第24回現役との親善交流戦 —



「不器用なので本気で勝ちにいった」というOBの吉崎久博さん（早稲田大学）は、二勝と貫録を見せていた。

東日本大学OB・OG囲碁会会長の中園清三さん（法政大学）は、「好勝負で、OB・OGも現役もみんな楽しんでいた」と振り返る。

交流戦と並行して級位者認定戦も行われた。競技終了後は、周辺の居酒屋でさらに親睦を深めた。

[左合 比登史／週刊「碁」掲載]

市ヶ谷・日本棋院で十一月三日、第二十四回東日本大学OB・OG・現役親善交流戦が開催された。これは、東日本大学OB・OG囲碁会のメンバーと関東学生囲碁連盟傘下の現役学生が対局するものだ。

選手は、タイトル経験者から低段者までいる。親睦が目的とあって、手合割はハンデ戦で、相手を変えて三回戦を行った。現役は三局対局するが、OB・OGは選手が多いため二局の対局だ。

結果は、OB・OGが一回戦で十二勝十三敗、二回戦で十二勝十三敗一ジゴ、三回戦が十四勝十一敗。計三十八勝三十七敗一ジゴで、OB・OGがわずかに勝利した。

二勝一敗で対局を終えた現役の日比野修平さん（上智大学）は「来年はもっと勝てるように精進する」と、決意を語っていた。



現役との親善交流戦成績表

実施日	1回戦 OB・OG-現役	2回戦 OB・OG-現役	3回戦 OB・OG-現役	合計
第1回 1992.11.1	7対3	6対5		13対8
第2回 1993.11.3	4対10	6対8		10対18
第3回 1994.10.30	7対9	11対5		18対14
第4回 1995.11.23	12対5	10対7		22対12
第5回 1996.11.30	10対6	9対6		19対12
第6回 1997.11.30	12対6	7対11		19対17
第7回 1998.12.6	20対8	19対7		39対15
第8回 1999.11.28	19対9	21対7		40対16
第9回 2000.11.5	13対12	20対6、2持碁		33対18、1持碁
第10回 2001.11.4	17対6	17対6		34対12
第11回 2002.12.1	14対10	14対9、1持碁		28対19、1持碁
第12回 2003.11.16	18対7	21対4		39対11
第13回 2004.11.3	15対13	18対9、1持碁		33対22、1持碁
第14回 2005.11.3	20対11、2持碁	17対15	(9対9)	37対26、2持碁
第15回 2006.11.3	21対14	25対11	21対12	67対37
第16回 2007.11.3	27対11、1持碁	23対16	21対14、1持碁	71対41、2持碁
第17回 2008.11.3	26対17	23対17		49対34
第18回 2009.11.3	33対13、1持碁	28対19、1持碁		61対32、2持碁
第19回 2010.11.3	22対34	30対26	21対25、1持碁	73対85、1持碁
第20回 2011.11.3	28対32	27対33、1持碁	36対22	91対87、1持碁
第21回 2012.11.3	27対13、1持碁	21対19、1持碁	23対17	71対49、2持碁
第22回 2013.11.3	21対19	20対21	24対17	65対57
第23回 2014.12.7	18対15	18対18	13対22	49対55
第24回 2015.11.3	12対13	12対13、1持碁	14対11	38対37、1持碁

※第2回までは現役側の定先。第3～8回は互先（一部ハンデ戦あり）。第9～13回は現役側の定先（一部互先またはハンデ戦あり）。第14回は非公式3回戦、第15回は正式に3回戦を行う。

※第8回からは現役の級位者大会を同時開催

第24回東日本大学OB・OG・現役親善交流戦対戦表

席次	OB・OG	1回戦		2回戦		3回戦	
1	中園 清三・法政	0○	石村 竜青・日本	—		0○	荻野 角太・千葉
2	寺田 浩・日本	0○	日比野 修平・上智	0○	荻野 角太・千葉	0●	石村 竜青・日本
3	松多 洋一郎・東京	—		2○	森本 大・千葉	—	
4	滝沢 千晴・中央	—		—		5○	小野早紀子・横浜市立
5	小池 洋一郎・中央	2●	三浦 樹優・埼玉	—		—	
6	榎本 弘幸・中央	—		—		3○	山田孝大・東京農工
7	菊池 友信・法政	2○	蔡 子維・日本	1○	栗原 康太朗・埼玉	—	
8	池上 均・東北	2○	森本 大・千葉	—		4○	星野 大智・國學院
9	片岸 完次郎・明治	2●	丸山 亮・東京農工	4○	横須賀明・東京農工	—	
10	加納 彰一・明治	2○	藤原 匡矩・千葉	0○	小森 公陽・昭和	—	
11	関口 信・明治	0○	今井 麻人・國學院	2○	島崎弘平・東京農工	—	
12	吉崎 久博・早稲田	1.5○	山村 芳枝・早稲田	3○	三浦 樹優・埼玉	—	
13	青木 勝・早稲田	—		3●	今井 麻人・國學院	2●	三浦 樹優・埼玉
14	黄 輝・早稲田	2○	山田孝大・東京農工	—		2○	蔡 子維・日本
15	曾我部 敏行・駒澤	—		—		3○	日山 桂介・明治
16	江藤 剛・慶應義塾	4●	田代ゆかり・東京農工	—		2●	栗原 康太朗・埼玉
17	周 仲翔・慶應義塾	2○	小森 公陽・昭和	0●	石村 竜青・日本	—	
18	菊池 忠浩・電気通信	3○	藤原 大樹・東洋	—		4○	今井 麻人・國學院
19	新免 修・電気通信	2○	日山 桂介・明治	—		3●	藤原 匡矩・千葉
20	古河 哲郎・小樽商科	0●	坂本龍之介・青山学院	0●	日比野 修平・上智	3○	吉田 泰郎・学習院
21	元岡 満雄・東京理科	—		0○	山村 芳枝・早稲田	0●	小森 公陽・昭和
22	鈴木 喜博・東京理科	—		1○	日山 桂介・明治	○	山村 芳枝・早稲田
23	大谷 益弘・小樽商科	1●	島崎弘平・東京農工	1●	藤原 大樹・東洋	2○	塩野 由理・日本
24	久藤 祐一郎・東洋	—		3○	小野早紀子・横浜市立	1○	島崎弘平・東京農工
25	忽那 学・防衛	3●	塩野 由理・日本	2●	蔡 子維・日本	—	
26	村松 来多郎・防衛	3●	星野 大智・國學院	3●	山田孝大・東京農工	—	
27	坂本 義明・埼玉	5●	小野早紀子・横浜市立	2○	藤原 匡矩・千葉	—	
28	児島 総枝・東京女子	0●	栗原 康太朗・埼玉	—		—	
29	萬木 真理子・東京女子	-1●	横須賀明・東京農工	-1○	塩野 由理・日本	—	
30	高橋 貴子・東京女子	-1●	鈴木 貫大・埼玉	-3△	小野寺寛人・埼玉	—	
31	高松 英美・日本女子	0●	中村 優子・実践女子	—		—	
32	勝俣 陽・神奈川	—		-1●	丸山 亮・東京農工	-1●	日比野 修平・上智
33	長谷部 優一・青山学院	—		-1●	坂本龍之介・青山学院	0●	森本 大・千葉
34	山田 剛一郎・東京教育	0●	荻野 角太・千葉	—		0●	丸山 亮・東京農工
35	戸田 晃鐵・東京教育	—		5●	二葉優樹・青山学院	2○	藤原 大樹・東洋
36	柳川 龍二・東京教育	—		4●	鈴木 貫大・埼玉	1●	坂本龍之介・青山学院
37	桜庭 幸雄・小樽商科	—		3●	星野 大智・國學院	3○	小野寺寛人・埼玉
38	佐藤 博史・小樽商科	—		1●	中村 優子・実践女子	0●	鈴木 貫大・埼玉
39	大畑 利夫・小樽商科	—		3●	吉田 泰郎・学習院	2●	中村 優子・実践女子
40	佐々木 健・千葉工業	2○	二葉優樹・青山学院	—		0○	横須賀明・東京農工
計OB・OG38-37 1持碁		OB・OG12-13		OB・OG12-13 1持碁		OB・OG14-11	

持ち時間 45分、ハンデ戦、互先は先番6.5目コミ出し。0は互先、1は定先、2以上は置き碁

東日本地域大学OB・OGプロ棋士一覧

	氏名	段位	所属	出身大学	生年
1	故富田 忠夫	名誉九段	瓊韻社	学習院大学	明治43年
2	故加納 嘉徳	九段	日本棋院	日本大学	昭和 3年
3	河合 哲之	五段	日本棋院	中央大学	昭和11年
4	小杉 清	九段	日本棋院(退役)	早稲田大学	昭和14年
5	故小西 泰三	九段(追贈)	日本棋院	早稲田大学	昭和14年
6	小島 高穂	九段	日本棋院	東京理科大学	昭和17年
7	泉谷 政憲	七段	日本棋院	法政大学	昭和17年
8	春山 勇	九段	日本棋院(退役)	立教大学	昭和21年
9	宮下 鈴枝	二段	日本棋院(退役)	日本女子大学	昭和21年
10	笠井 浩二	七段	日本棋院	中央大学	昭和22年
11	時本 壱	九段	日本棋院(退役)	東洋大学	昭和23年
12	岩田 一	九段	日本棋院(退役)	慶應義塾大学	昭和23年
13	雛 海石	八段	日本棋院(退役)	駒澤大学	昭和23年
14	上村 陽生	九段	日本棋院	日本大学	昭和24年
15	淡路 修三	九段	日本棋院	青山学院大学	昭和24年
16	長崎 裕二	五段	関西棋院	上智大学	昭和26年
17	平本 弥星	六段	日本棋院	一橋大学	昭和27年
18	桐本 和夫	四段	日本棋院関西総本部	東京大学	昭和28年
19	石倉 昇	九段	日本棋院	東京大学	昭和29年
20	土井 誠	八段	日本棋院	青山学院大学	昭和29年
21	尾越 一郎	九段	日本棋院(退役)	中央大学	昭和29年
22	小長井 克	八段	日本棋院	明治大学	昭和38年
23	小山 栄美	六段	日本棋院	上智大学	昭和45年
24	吉原 由香里	六段	日本棋院	慶應義塾大学	昭和48年
25	王 唯任	五段	日本棋院	桜美林大学	昭和 52年
26	光永 淳造	六段	日本棋院	東京大学	昭和49年
27	青葉 かおり	四段	日本棋院	早稲田大学	昭和 53年
28	白石 勇一	六段	日本棋院	中央大学	昭和 59年
29	王 景怡	二段	日本棋院中部総本部	法政大学	昭和 61年
30	下坂 美織	二段	日本棋院	早稲田大学	昭和 62年
31	王 景弘	初段	関西棋院	専修大学	昭和 62年
32	大熊 悠人	初段	関西棋院	専修大学	平成元年

[注1] 2015年12月末日現在のデータです。

[注2] (退役)は退役棋士です。

[注3] 並び順は年齢順、年齢が同じ場合は段位の順です。

※表に載っていない東日本地域の大学OB・OGのプロ棋士がいましたらご連絡ください。

早稲田大学囲碁会 OB・OG会活動報告

東日本大学OB・OG団体戦



早稲田大学囲碁会OB・OG会の活動は、年間では1月の東日本OB・OG団体戦に始まり、3月の高麗大学との親善交流、7月のオール早稲田囲碁大会、12月のオール早慶戦を行っています。また、季刊で早稲田囲碁会OB・OG会だよりを発行し、会員の囲碁界における最新情報を提供しています。

現在の早稲田大学囲碁会は、昭和25年(1950年)に発足しました。深谷博治先生を会長とし、山本直三、栗原弘治の尽力で再興されたものです。

大学本部に団体として申請の際、「『囲碁部』というのは大学にあたかもそういう学部があるように誤解されるので認められない、『囲碁会』ならよい」という経緯があり、いわゆる早稲田の囲碁部は「囲碁会」が正式名称です。そしてOB会の名称も、「早稲田大学囲碁会OB・OG会」です。

昭和26年春の大学リーグの参加校は、12校で、東大、慶応、専修、中央、東大2、東工大、一橋、千葉医大、明治、慈恵、教育大、早大でした。当時は一チーム七名で、早稲田は村上文祥が主将で初優勝しました。

20年後の昭和46年(1971年)

には、全日本学生団体戦で三浦浩を主将として初優勝し、以降4連覇しました。

50年後の平成12年(2000年)からの14年間で、2連覇4回を含む8回の優勝を果たしています。

一方、OB・OG会のチームとしては、東日本OB・OG団体戦において、近年シード落ちするなど成績が芳しくないため、今後頑張っていきたいと思います。

[早稲田大学囲碁会OB・OG会 吉崎久博]

東日本大学OB・OG 囲碁団体戦Aクラス 優勝への道のり

法政大学囲碁部OB会は1992年開催の第1回大会(当時は関東大学OB・OG戦)から参加しており、東日本大学OB・OG囲碁会の現会長である中園清三氏を中心にして毎年優勝を目指し奮闘していますが、勝ち運にも恵まれず、厳しい道のりが続きました。

ようやく2012年に開催されました第22回大会において、当会は20チーム参加したBブロックで優勝することができました。それも最終戦は7勝6敗という僅差での勝利であり、優勝を争っていた相手が敗れるという幸運にも恵まれました。Bブロックではありましたが、長年待ち望んだ優勝の味は格別なものがありました。居酒屋での祝勝会は大いに盛り上がり「来年はAクラスで優勝だ」と意気軒高、にぎやかな前祝いとなりました。

この年の10月湯河原の「民宿杉の宿」でAクラス優勝のための強化合宿を兼ねた恒例の囲碁部OB会を行い、「石の響」第7号に「法政大学囲碁部OB会の合宿について」を寄稿しました。

Aクラス初優勝をめざして臨んだ第2

3回大会（2013年開催）は意気込みが空回りしたのか、残念ながら準優勝に終わり、悲願のAクラス優勝は翌年に持ち越しとなりました。そして今年こそ24回大会（2014年開催）、1回戦こそ11勝2敗で勝ち、幸先よくスタートしましたが、2回戦は中大、3回戦は東大と歴代優勝校相手にいずれも7勝6敗と薄氷を踏む勝利でした。

実力なのか、勝負の神様が味方したのか、4回戦では東北大に8勝5敗で勝利することができ、当会にとっては長年の念願であったAクラス初優勝となりました。小生は応援団長として13面を見回りながら優劣や勝敗を確認していましたが、8勝目が決まったときは思わず小さくこぶしを握り、「やった」と心の中で叫んだこと今でも覚えています。

日頃は「お前は筋が悪い、非力だ」と口うるさい先輩方をこの日ほど頼もしく思えたことはありません。感謝、感謝でありまして、これからも口と指先が達者な限りは頑張っていただけのことでしょう。

実は母校である法政大学は、現役のリーグ戦である「関東学生囲碁リーグ戦」1部リーグでは2位が最高であり、優勝したことはありません。現役時代、悔しい思いをした先輩方は、今回の優勝で少しは溜飲を下げることができたかもしれません。

現在の現役は1部と2部を行き来しているようですが、先輩方を見習って、是非とも悲願の初優勝めざして頑張ってもらいたいものです。

優勝その後：10月に恒例のOB会合宿を再び「民宿杉の宿」で行い、翌年（2015年）開催の第25回大会でのAクラス連覇を目指しました。

大会当日、強力な若手2人をメンバーに入れ、今年も優勝と意気込みましたが、何と強化合宿で優勝しポイントゲッター



と期待したKさんが急遽体調不良で欠席。一瞬不穏な空気が漂いました。それでも、1回戦12勝1敗、2回戦8勝5敗、3回戦10勝3敗と勝利を重ね、優勝を掛けて4回戦に臨みましたが、優勝した中大に6勝7敗と惜敗。1勝の重みをひしひしと感じました。

残念な結果ではありますが、来年の目標ができたと思い、気持ちを切り替えて祝勝会の予定がにぎやかな懇親会となりました。

追記 昨年7月に行われた女流棋士による第2回会津中央病院杯において、本校OGの王景怡二段が優勝されました。同窓同好の皆様と共に祝福致します。

[1974年卒 OB会会長・大森 邦雄]

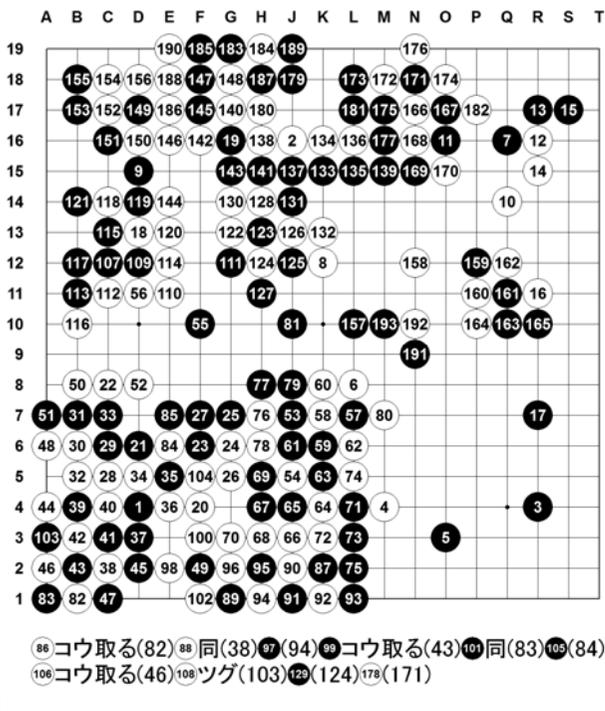
オリオン三連星御披露目進行

第25回東日本大学OB・OG団体戦で碁盤を効率的に2分割する構想から考え付き、マイケルレドモンド九段との自由置き碁などで試してきた布石は第25回OB・OG団体戦で用いて一応の結果を得ました。この碁は白番信永の時間切れ負けでしたが一の8に抜けば勝っていたのではと思います。

この棋譜をOB・OG戦の打ち碁の記録として事務局に提出するとき、私の考

第25回東日本大学OB・OG団体戦

黒 一橋大学10将
白 信永 恕平



オリオン三連星

えていきたいと思います。

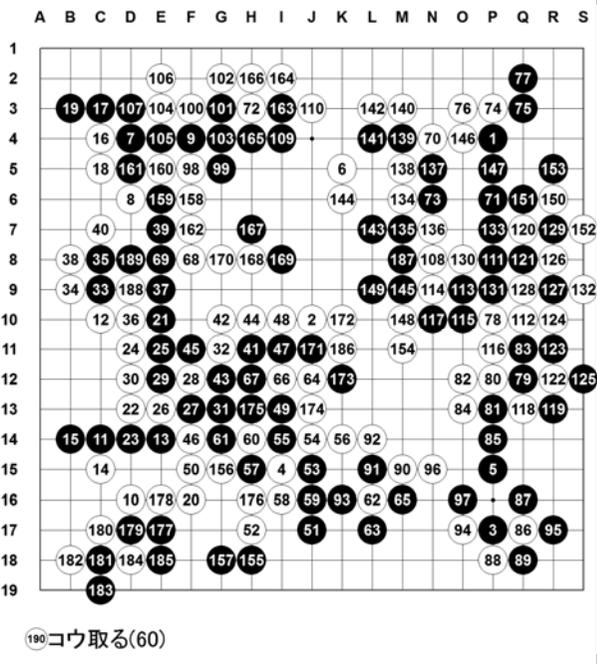
[東京教育大学囲碁部OB 茗石会世話人・信永 恕平]

案した超新布石と銘打って提出したところ、事務局の速水さんから昭和61年第26回朝日アマ十傑戦準々決勝で西村修氏と中園清三氏との対局で打たれている) - <http://plaza.rakuten.co.jp/igonikki/diary/200810230000/>参照 - と知らされた時は、本当におどろきました。しかし、私の布石構想も満更捨てたものではないと自信をもちました。

その後、レドモンド九段から上記布石の改良型を提案頂き、現在幽玄の間で試行中です。この布石にオリオン座の中心にある「三つの連星」になぞらえて、「オリオン三連星」と命名してみました。

この布石を某さんに試したところ、多大の戦果をあげました。レドモンド九段に感謝です。我が茗石会の大将の三井さんが主宰する気楽な碁会で更に磨きをかけ、OB・OG戦の本番に備

黒 某さん
白 信永 恕平



東日本大学OB・OG囲碁会副会長

三浦浩さんを偲ぶ

三浦浩さんの戦績

- 1971年 アマ本因坊戦優勝
- 1972年 アマ本因坊戦準優勝
- 1974年 アマ本因坊戦優勝
- 1975年 アマ十傑戦優勝
- 1976年 アマ本因坊戦準優勝
アマ十傑戦優勝
- 1979年 アマ本因坊戦優勝
- 1980年 アマ本因坊戦優勝
- 1982年 アマ本因坊戦優勝
アマ十傑戦準優勝
世界アマ選手権日本代表
決定戦準優勝
- 1983年 アマ十傑戦準優勝
世界アマ選手権準優勝
- 1987年 世界アマ選手権日本代表
決定戦準優勝
- 1989年 アマ本因坊戦準優勝
世界アマ選手権日本代表
決定戦優勝
- 1991年 アマ十傑戦準優勝
世界アマ選手権日本代表
決定戦準優勝
最強戦準優勝
- 1992年 アマ十傑戦優勝
- 1994年 アマ本因坊戦準優勝
アマ十傑戦準優勝
世界アマ選手権日本代表
決定戦準優勝
- 1998年 アマ本因坊戦準優勝
アマ十傑戦準優勝
- 1999年 アマ本因坊戦優勝



1971年アマ本因坊戦決勝戦



同優勝

三浦さんの思い出

素人ではないが玄人でもない、三浦さんといえば昭和40年代のアマ囲碁の世界で大活躍され、若手大学生選手として、真っ先に名を挙げられた人でした。一番で我ら憧れのアマ本因坊になられたのでした。

私は50年前くらいだったか、三浦さんの早稲田の三年後輩、というかほとんど奴隷だったとき、三浦さんの結構深刻な対局見たんですが、そのとき、三浦さんが打った、素人が思いもつかない「アテコミ」に、3日くらい感動して息ができなくなり、一ヶ月ほどボーゼンとして過ごしたことがありました。

筋がいいなどというレベルではないのです、なんだこれ！という、気の遠くなるレベルの手なのです、感動するしかなかったのでした。三浦さんの感覚は素人離れでした。お酒も素人離れだったけど。

45年前、高田馬場の麻雀屋で徹夜何度したことか、チンチロリンで10回近くオール1が出たことあったよね、アハハはと笑いながら寝ちゃったのが私、寝ないのが三浦先輩、ここあたりから、差がついてしまったのでした。その頃から三浦さんは体力・精力抜群だったけれど、体力に自信のないヤツが寝てからが、さらに強かった。マージャンも強かった、あの頃の早稲田囲碁会は、碁を打つよりマージャンしてることの方が多かったと思います。

いつしかお互い還暦になって、聞けば三浦さんも、チンチロリンだけじゃなく、飲んだくれにも腕をあげて、天下の覇者になられたとも聞きました。今の早稲田OB会吉崎会長なんか、当時は借りてきた猫みたいだった。吉崎現会長は私と歳は一緒ですが、当時はどうしようもなく真面目、飲んだくれたりデタラメやったりするのは苦手、でも大学対抗戦では必ず勝つポイントゲッターでした。

三浦先輩にはご冥福をお祈りするばかりです。意余って言葉足らず、とにかく合掌あるのみ。

本日は下弦の月、間もなく新月であります。新月の後の月は膨らむばかりなのに、このまま暗くなることはないのに。

愚生は先輩とは、先2でしたが、その後素人をだまくらかすテクニック覚えてさ、ふつうの六段に4子置かせても、まず負けなくなりました、でも、こういう勝ち方を三浦先輩が見てたら、はっ倒されるだろうなあ。このペテン師め、こんな汚い手を教えたはずはないぞ！って。

もう一度でいいから、真剣に、先で打たせていただきましたかったです。

あの伝説の先生、両劫の深谷先生に白を持つことができたのは、村上文祥さん以外では、三浦さんが最後だったのではあるまいか？

三浦さんはどんなに強くても深谷先生に白を持つという大それたことをする人ではありませんでした。そこが彼のすごいところ。でも深谷先生が、キミどうしても白を持って、と言ったときがありました。文祥さんのあとは、誰が見たって三浦さんだったもの。一度山内(民雄)と一緒に時、三浦さん白持ったよ。確かそんな劇的なことありました、私たちは目撃者。

昭和44年前後に、部活の練習試合で深谷先生に勝って(当たり前だよ、選手クラスなのに深谷先生は6子も置かせるんだから。選手クラスは勝つに決まっている、当

然のように勝って)偉そうにしているバカがいましたが、当時の主将山内と久住幹事長は、そういうアホは殴るのです。「お前ら深谷先生に勝って自慢なのか、基本的に勘違いしているのじゃないか、勝っていいと誰が認めた？何をやったか自覚はあるのか？とっとと帰れアホンダラ」と、罵倒したものでした、こんにちまで、正しいことしたと信じています。

勝ってなんで先輩に殴られなくてはいけないのかと、彼らは泣きながら帰りましたが、両劫の深谷先生(この命名には深い意味があるのだ)に、このような大人物であらせられる先生に、打っていただくだけで、感謝感激して国の両親に涙で報告すべきものであって、先生と畏れ多くも勝負をしている気になりやがって、あまつさえ勝負に勝ったとか自慢するような軽佻浮薄のヤローは(暴挙と言います)、今は良くてもこれから世間に出てろくなことにならないと確信したからなのです。今でもそう思っています。

先生は70過ぎられてだんだん衰えてこられている、その先生の石を殺すことに意味を見出すヤツはその時点でダメ、ろくな死に方をしないであろう！

先輩から人の道をいろいろ教わった、久住とか山内主将はこういうところに、ことのほかうるさかったのですよ。

深谷先生に失礼なことをしたバカヤロウは、とにかく、問答無用に、練習所からたたき出しました。

てなこと、偉そうに言っていますが、本当は、深谷先生のご機嫌がいいときにおべんちゃら言って、「おい、久住くんと山内くん、ちょっと一杯付き合え」と声がかかるのを待っていたのです。高田馬場駅近くの先生行きつけの飲み屋で何度ゴチになったことか。

両劫の深谷先生を知っている人は、何人お出ででしょうか？三浦、文祥、深谷、田村竜騎兵さん、みな鬼籍、春秋子こと秋山賢司さんだけ業界で孤軍奮闘。

秋山さんは、昔の山田覆面子みたいなポジションに今おいでですね、若手囲碁ライターの憧れの的というわけ。私はいつだったか、秋山さんの老練な文章に感動して、『朝日』にファンレター出したことがありました。

あのころのすべてが、今は昔になりましたな。茫茫半世紀、あの頃一番輝いていた若手の三浦さんが亡くなったんだ、ああ……………。

[2014 9・30 45年前の早稲田囲碁会全盛期幹事長・久住 久俊]

1 よきライバルとして

三浦さんは私の4歳年長です。私が18歳で大学に入学したときから、アマ囲碁界のよきライバルとして、46年もおつき合いがありました。

当時の関東学生リーグはレベルが高く、三浦さんのほか今村文明さん、小森祥嗣さん、吉田晃さんら強い選手がたくさんいました。

アマ碁界は、平田博則さん、菊池康郎さん、村上文祥さん、原田実さん、西村修さんの五強時代で、この先輩たちを目標にしてきました。その、突破口を開い

たのが三浦さんです。

現役・OB時代とも、団体戦は早稲田の優勝が多く、個人戦と団体戦の両方を足すと、三浦さんがもっとも優勝経験が多いのではないのでしょうか。

しかし、個人の優勝回数は私のほうが多く、よく三浦さんは準優勝が多いことを悔しがっておられましたが、安定して決勝にいかれるので、逆に私は感心していました。私は1回戦負けや1日目の敗退が多かった(アマ十傑戦では9位も多い)のです。

また、社会人としては、ばりばり仕事

をされていて、立派に思いました。村上文祥さんを慕って、姿勢を見習っていたのを感じました。

藤田梧郎先生の発案で、東日本（当時は関東）大学OB・OG囲碁会の組織を作ってきましたが、三浦さんと一緒に役員をやるようになったのも縁でしょう。

また、大所帯の早稲田をまとめてこられたのは大変だったことでしょう。

ご冥福をお祈りします。

[中園 清三・法政大学]

三浦さんと私は、リーグの主将戦と一緒に戦った仲です。当時、学生囲碁界は全盛期で、リーグ戦も盛り上がり、7部くらいまでありました。

早稲田は先輩後輩の縦のつながりが強

い校風で、そこがいいところだと思いました。先輩を大事にし、後輩の面倒をみる。

三浦さんの考え方は碁にもよく出ています。石の形や筋を大事にしていたのは、大竹英雄名誉碁聖が大好きだったから。三浦さんの中に「美学」がありました。

ですから粘って逆転ではなく、盤上できれいに打つという感じでした。それが長所でもあり欠点でもありました。今は勝てばいいという勝負優先の風潮ですが、三浦さんはあっさりしていた。生き方が出ていますよね。

別れが早すぎて残念です。

[上村 陽生・棋士・日本大学]

東日本大学OB・OG囲碁会役員一覧

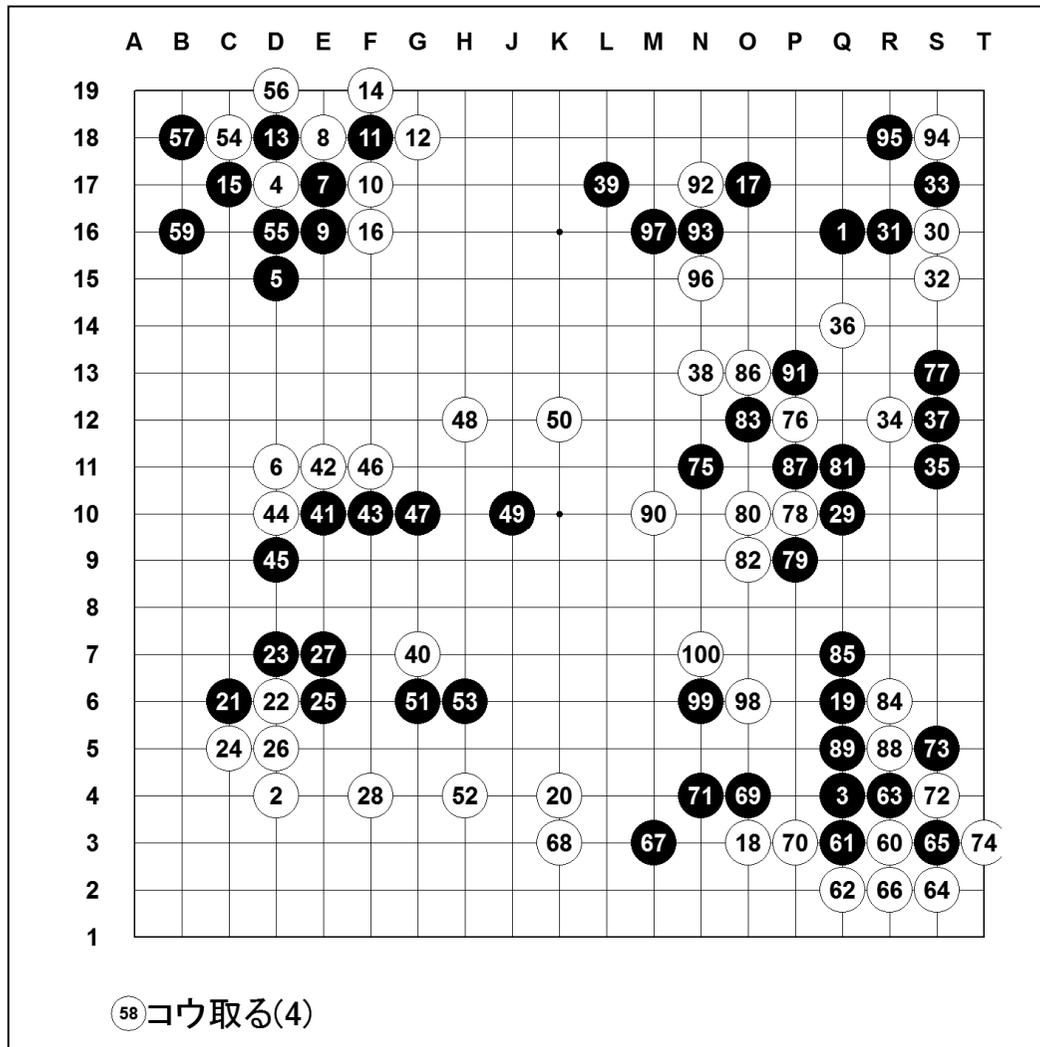
役 職	氏 名	所 属
会 長	中園 清三	法政大学
副 会 長	坂本 光敏	明治大学
副 会 長	寺田 浩	日本大学
会 計	児島 総枝	東京女子大学
監 査	西崎 保彦	北海道大学
幹 事 長	榎本 弘幸	中央大学
副幹事長	古西 仁志	東北大学
幹 事	左合 比登史	東洋大学
幹 事	内藤 由起子	お茶の水女子大学
幹 事	今井 速人	千葉大学
幹 事	村松 来多郎	防衛大学校
幹 事	曾我部 敏行	駒澤大学
幹 事	松多 洋一郎	東京大学
幹 事	高野 雅永	慶應義塾大学
幹 事	吉崎 久博	早稲田大学
顧 問	佐藤 尚次	関東学生囲碁連盟会長
相 談 役	山下 功	慶應義塾大学
相 談 役	吉田 晃	東京大学

第16回アマチュア十傑戦決勝 1976.6.21.

黒 三浦 浩 白 村上 文祥

先番5目半コミ出し 208手以下略 黒9半目勝ち

第1譜 (1~100)



【講評・上村陽生九段】 三浦さんは布石を重視していました。石が素直で、力むのは好まない。

星打ちは好きではなかったと思いましたが、この碁は打っていますね。

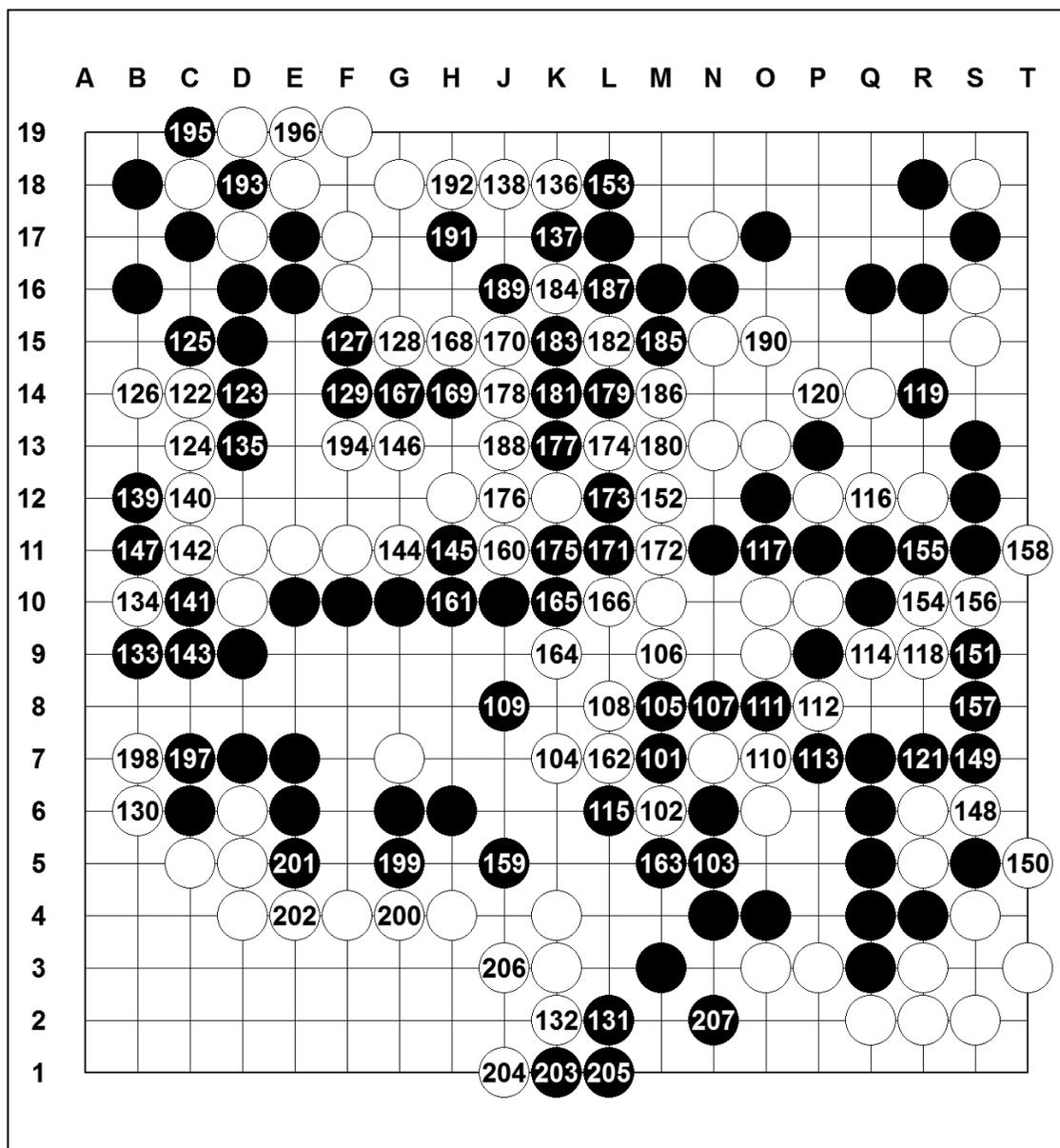
白は文祥さんらしい高中国流。両者とも個性があって素晴らしい。

黒29まで、黒十分でしょう。白30~黒39も、定形ではありますが、白が重い。

白40はおもしろい発想。黒49はもったいない感じです。単に黒51、53と取り込み、ゆっくりいくほうが石筋がきれいで素直でした。

難しい形勢です。

第2譜 (101~207)

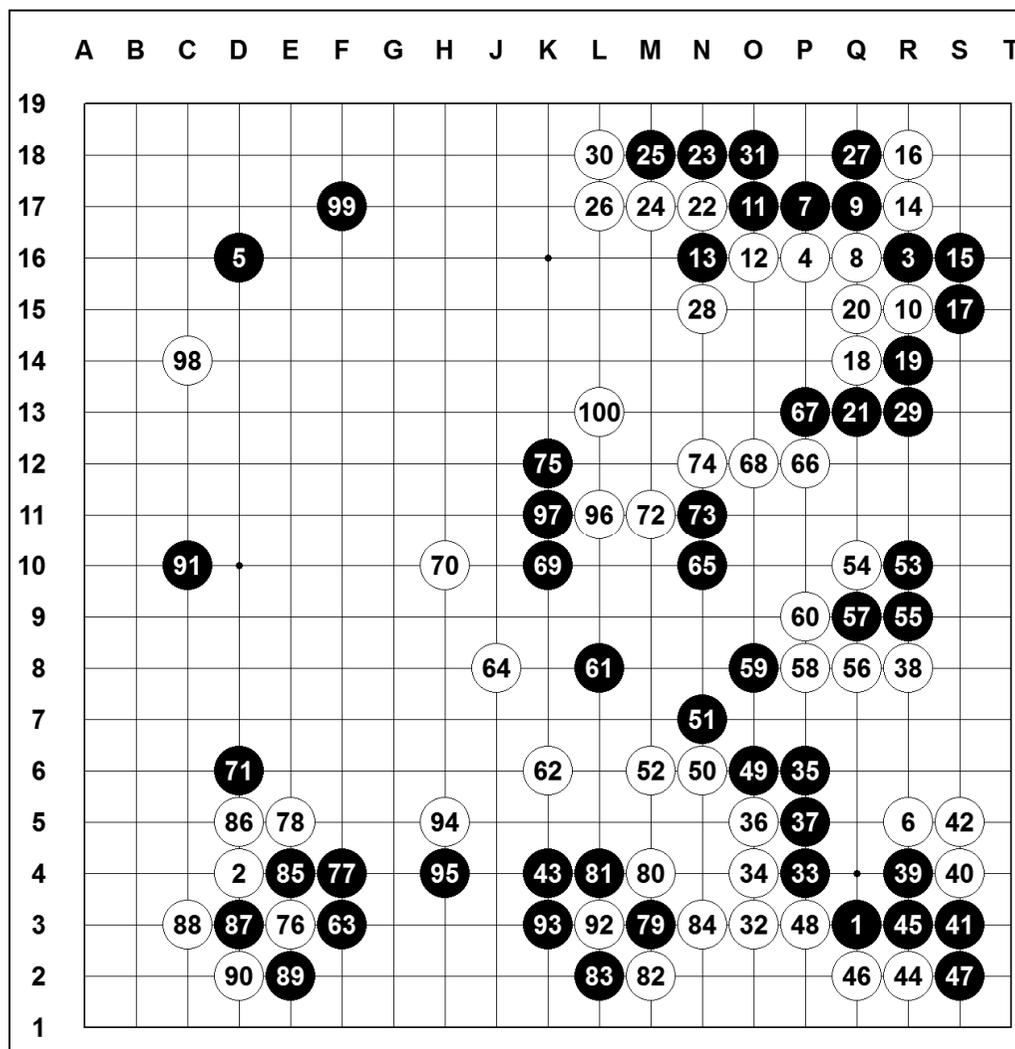


第20回全日本アマチュア本因坊戦決勝 1974.9.9

黒 菊池 康郎 白 三浦 浩

先番4目半コミ出し 196手完 白3目勝ち

第1譜 (1~100)



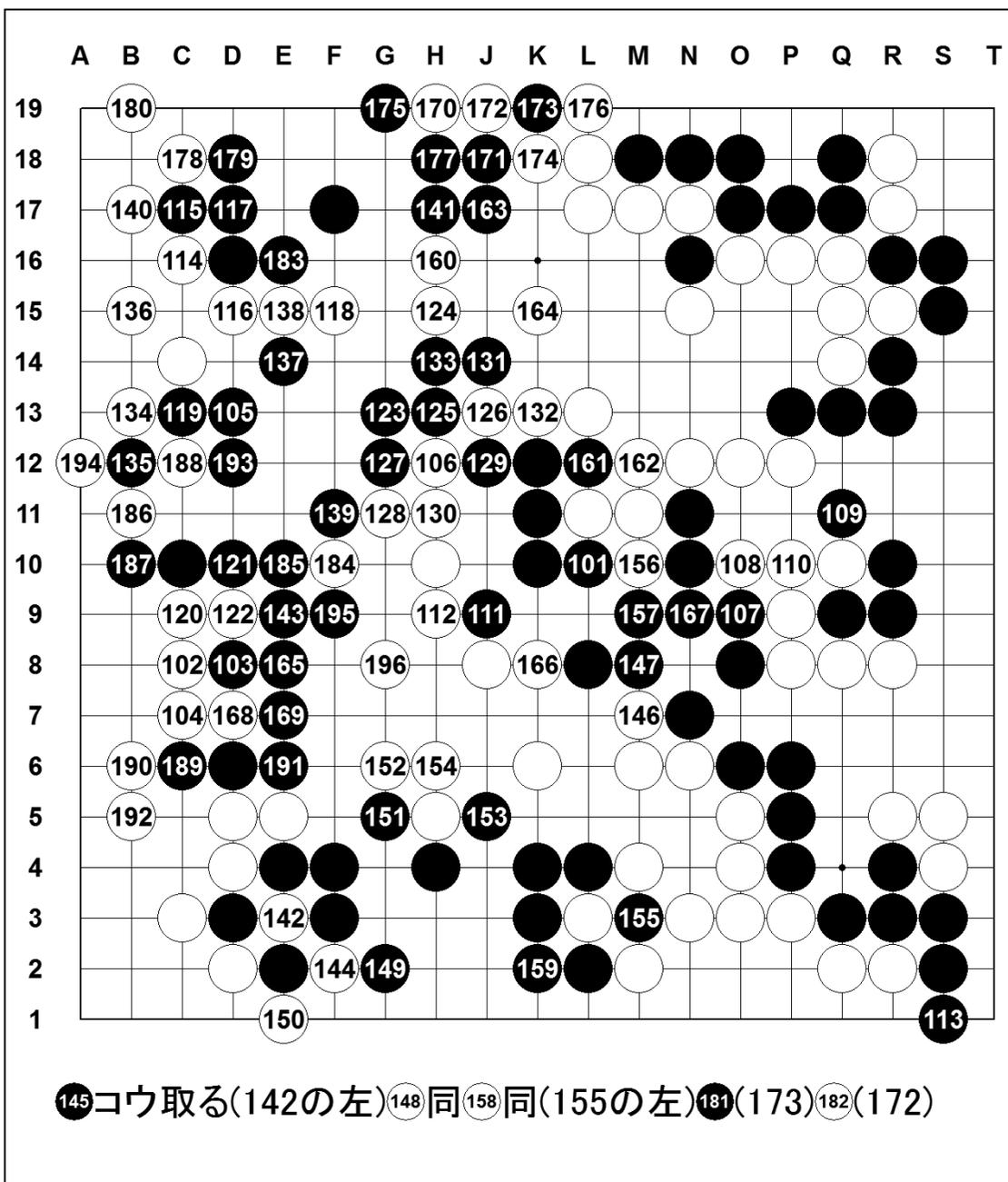
[講評・上村陽生九段] 大竹名誉碁聖の影響を受けている三浦さんは、本来、ナダレなど手数長い定石は打たないタイプですが、この碁は白8からやりましたね。

黒21が問題。28ノビがよかった。白30まで白よしです。

黒47が疑問で、白48との交換がなければ、黒53で80の急所にいけました。ここにノゾけないのは痛手で、原因は47にあります。

白54から一緒に出て行く作戦はなかなか。

第2譜 (101~196)



[講評・上村陽生九段]

黒135から白140で勝負ありました。白の理想形。黒135では141に一間なら、白の応手も難しく、形勢も不明でした。

左辺で三浦さんが競り勝ちました。

西日本大学OB・OG囲碁会の活動報告

東日本大学OB・OG囲碁会の皆様、貴重な誌面を割いていただきありがとうございます。今年度の活動につきまして、日韓交流戦を中心に報告させていただきます。

2015年3月7日、12回目となる日韓交流戦が6年ぶりに大阪で開催されました。6年前は、当時の西日本の向井会長と代表幹事の行松さんが、韓国チームの方々の観光案内・前夜祭準備・会場設営等々に文字通り奔走していました。対戦結果は19勝19敗と目出たく和局となり、対局後の懇親会もとても和やかな交流戦だった記憶があります。その後、翌第7回のソウル開催で敗れ、第8回の東京開催で勝利、翌年の第9回で初めてアウェイで引き分けた後は第10・11回と2連敗という流れで迎えた今回の交流戦でした。

河井会長の「久しぶりの大阪開催やで」というプッシュの下、2015年の年初から京大OBの吉田さんを中心に取り組み、仕事の合間にメンバー集め、当日の運営の役割分担などを焦りながら決めていくうちに気づけば大会当日。東西対抗戦でお馴染みのアルプス江坂囲碁センターで午前10時に対局開始となりました。

さて、成績は1回戦が19対19と拮抗しましたが、2回戦は24対14で日本側が勝ち、通算で43勝33敗と、4年ぶりの勝利を収めることができました。これにより、12回を通じての成績は3勝6敗3引き分けとなりましたが、次回以降も親善第一で好勝負・接戦を続けていけたらと念じております。

対局後の懇親会は、6年前と同様、選

手以外の有志も加わりにごやかな会だったと思います。関西における大学囲碁部は、全般的に関東より人数が少なく、それだけにみんな顔見知りで各大学間の垣根が比較的安く、気安いところがあります。宴会担当幹事(笑)としてはそのムードに乗っかり、極力円滑な運営に努めたつもりですが、力不足で多々不手際があったことと思います。ご参加くださった東日本の皆様、その節は失礼いたしました。

また、円安ウォン高という為替環境に加え、久々の大阪開催ということもあってか、ありがたいことに韓国からのご参加が例年よりもとても多く、東日本で韓国側との窓口・様々なアレンジを下さった防衛大OBの村松さんをはじめとし、貴会の役員の方々を中心に大変ご尽力をいただきました。この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。

5月23日(土)には、同じくアルプス江坂囲碁センターにて第22回の東西対抗戦が行われました。

結果はご承知の通り、西日本側から見て28勝21敗1ジゴとなりました。来年は東京開催ですので、ガツンとこられることはある程度覚悟しております。どうぞお手柔らかに…。

9月20日には、当会の第26回目となる総会が、18大学・186名の参加のもと開催され、年齢層別の全5グループに分かれて勝敗を競いました。近年、どの世代も層の厚い京都大学チームと若手強豪を多数輩出している立命館大学チームが優勝争いをする事が多いのです



うぞお気軽にお声がけください) 今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
代表幹事・高橋 晃一郎 (大阪市立大学OB)]

が、今年是他大学も存分に実力を発揮し、大阪市立大学・関西大学・京都大学・立命館大学(50音順)の4校で各グループの優勝を分け合う結果となりました。

上記のような催事以外でひとつ触れなければならないこととして、貴会とともに当会も支援を続けていた現役学生のイベントである「4地区対抗戦」の来年度以降の休止が挙げられます。「高段者しか全国大会に出られない」という従来の仕組みを見直し、級位者や低段者も参加できるという新しいコンセプトの全国大会であり、当会としても大会の立ち上げ当初から現役学生の熱意・工夫に大いに期待を寄せていただけに残念な出来事でした。着眼は良かっただけに、運営方法の見直し、新たなスポンサー開拓など、今以上に学生諸君が汗をかいて練り直していただき、学生囲碁界の発展のため、あきらめずにチャレンジを続けていただくことをOBとして若い方々に期待したいと思います。

最後になりましたが、これまで当会の先輩方がしてきたように、貴会と手を携え、OB会および、現役の学生碁界が、今後ますます発展していくよう、微力ながら精一杯努めたいと思います。(東京に単身赴任中ですので、見かけた際はど

【西日本大学OB・OG囲碁会役員】

会長	河井 正夫 (大阪府立大)
副会長	種山 直樹 (同志社大)
副会長	奥井 清貴 (関西大)
副会長兼会計	行松 靖 (神戸大)
代表幹事	高橋 晃一郎 (大阪市立大)
代表幹事補佐	小野 拓真 (立命館大)
代表幹事補佐	吉田 周一 (京都大)
代表幹事補佐	福田 覚 (立命館大)
監査役	菜嶋 康夫 (大阪市立大)
監査役	坂本 昭 (甲南大)
顧問	高坂 節三 (京都大)
顧問	阪本 清士 (関学大)
顧問	田口 哲朗 (大阪大)
顧問	山川 昇 (甲南大)
顧問	向井 寛行 (京都大)
顧問	坂口 隆三 (日本棋院)
顧問	林 海峰 (日本棋院)

東日本地域の学生囲碁連盟の活動

関東地区の活動

関東学生囲碁連盟では以下の大会及び交流戦を開催しています。

[春季関東学生囲碁団体戦]

5月連休周辺、会場＝大学ごとの持ち回り

[女子学生本因坊決定戦関東予選（同Bクラス※）]

5月第4日曜日、会場＝新宿囲碁センター

[学生本因坊決定戦関東予選]

6月第2日曜日、会場＝日本棋院会館

[学生囲碁十傑戦関東予選]

6月第4日曜日、会場＝いずみ囲碁ジャパン

[高校生練習会※]

7月中旬、会場＝駒場東邦高校

[東障囲碁サークル交流会※]

8月中旬、会場＝東京都障害者福祉会館

[学生囲碁王座戦関東予選]

9月第三日曜日、会場＝日本棋院会館

[秋季関東学生囲碁団体戦]

10月休日（3日間）、会場＝大学ごとの持ち回り

[OB・OG現役交流戦※、級位認定大会※]

11月初旬、会場＝日本棋院会館

[関東学生ペア碁大会※]

3月（春分の日）、会場＝日本棋院会館

（※は関東独自の大会）

まず各棋戦の関東予選についてご紹介します。

●春季・秋季関東学生囲碁団体戦

1チーム5人からなる一般部と1チーム3人からなる女子部で構成される、関東で最も規模が大きく、注目度の高い大会です。春季（5月）と秋季（10月）の2回にわたって開催され、昨年の秋季団体戦では参加チーム42（一般部35、女子部7）と、約300人の学生が参加されました。

一般部、女子部ともに、1部につき8チーム在籍のリーグ戦によって運営され、3日間で7局を打ち、上位2チームが上の部へ昇格し、下位2チームが降格します。一般1部で春と秋に優勝したチームは12月に行われる全日本大学囲碁選手権に関東代表として出場します。春と秋で優勝したチームが異なる場合はプレーオフにて代表校を決定します。

また2008年から、新たに関東学生囲碁Bリーグというリーグ戦を同時開催することとなりました。Bリーグ運営委員会によって運営されるこの大会は、1チーム3人からなるチーム戦で、互先リーグとハンデ戦リーグとが行われています。親善を目的とした大会ではあるものの、入賞チームには賞品もあり、毎回熾烈な争いが繰り返されています。

●各個人棋戦 関東予選

学生本因坊決定戦、学生囲碁十傑戦、学生囲碁王座戦、女子学生本因坊決定戦の関東予選を行っています。

※括弧内は昨年度の参加人数。

- ・学生本因坊決定戦（96人）：参加者が枠分のブロックに振り分けられ、各ブロックの優勝者が関東代表選手となります。
- ・学生囲碁十傑戦（111人）：大学生だけでなく、高校生や大学院生も参加できる唯一の大会です。代表の選出は本因坊戦と同様に行っています。
- ・学生囲碁王座戦（108人）：他の棋戦とは異なり、本戦がインターネットとリアル両方で行われます。他と同様の予選を通過した選手は、全国から64名が集結するネット本戦の出場権を得、ネット本戦で2回勝利すれば、晴れてリアル本戦への出場権を得られます。
- ・女子学生本因坊戦（30人、Aクラスのみ）：AクラスとBクラスを設け、Aクラス

は関東予選、Bクラスは級位認定戦を行っています。

また、関東学生囲碁連盟では以下のような独自の大会も行っています。

●女子学生本因坊決定戦関東予選Bクラス (12人、級位認定)

級位者を中心としたBクラスでは、級位認定を行っています。スイス方式トーナメントで4回戦を行い、3勝した人は申請級を、4勝した人には申請級の1つ上の級を認定しています。女子のみの大会ということもあり、和気藹々とした雰囲気で行われています。

●高校生練習会

毎年、7月に駒場東邦高校にて行われる高校生の“全国大会代表者強化練習会”に、大学生を派遣して一緒に練習会を行っています。夏の大会を控えた高校生に、大学生が囲碁の指導をします。大学囲碁界と高校囲碁界をつなぐ数少ない機会であり、主催していただいている高校囲碁界の先生方には毎年お世話になっています。

●東障囲碁サークル交流会

毎年8月中頃、東京・三田にある東京都障害者福祉会館で行われます。東障囲碁サークルは、障害を持っている方を中心として様々な活動している囲碁サークルです。

この交流会では1人最低4局は打ち、「学生チーム」対「東障囲碁サークルチーム」としてその勝ち数を競います。数人でにぎやかに検討を行い、同じテーブルで一緒に昼食をとりながらお話をするなど、「交流会」の名の通り和やかな雰囲気で行われています。「いつもと違う人と打って楽しい」と好評で、学生・サークル双方にとって有意義な会です。

●OB・OG現役交流戦と級位認定大会

毎年11月上旬に日本棋院にて交流戦と認定大会を併設して行っています。

級位認定大会では1人3局ずつ対局し、その成績と申請級をもとに級位を認定します。昨年度は20名が参加し、11名が認定されました。局後の検討も熱心に行われ、観戦者も検討に参加して意見を述べ合うなど、級位者の大会として大いに盛り上がります。

交流戦はOB・OG対現役で勝ち星の数を競います。昨年度の結果は3回戦合計で、OB・OG38勝、現役37勝、1持碁でした。

対局後には懇親会があり、OB・OGの方々と交流する貴重な機会となっています。

●関東学生ペア碁大会

この大会は、連盟としては唯一のペア碁大会です。主催は公益財団法人日本ペア碁協会と関東学生囲碁連盟、また、株式会社ぐるなび、株式会社パンダネット、株式会社方円企画、小川誠子六段、各位からのご協賛をいただいております。学部生はもちろんのこと、大学院生や若手OB・OGの方も参加できるのが特徴です。

競技は参加ペアポイントによるハンデ戦で、スイス方式にて4回戦を行います。交流が目的の大会とはいえ、対局は真剣そのもの。ペア碁特有の難しさもありますが、だからこそ勝ったときの喜びも大きく、熱心に検討したり次の作戦を立てたりするペアの姿も見られます。

大会終了後には入賞ペアへの表彰に加え、協賛・後援各位より豪華な賞品を提供していただいております。抽選のたびに歓声が上がするなど、とても賑やかで華やかな大会です。

・たんぼぼの集い

たんぼぼの集いは大学の垣根を超えた、関東圏の学生囲碁界のサークルです。

3ヶ月に一度の交流会（平均参加人数70名）では囲碁と飲み会を通じて友達を増やしましょう！

他にも、スポーツや花火大会、他の囲碁イベントへの参加など、精力的に活動をしています。

「うちの大学に囲碁部ないし・・・」「どうやったら囲碁をする人と知り合えるんだろう?」「1人だけで知り合いもないけど大丈夫かな・・・。」

そんなことを考えているあなた!ぜひ参加してみてください。

何も考えてないあなた!えらい。何も言わず参加せよ。

動けば、きっと友達の輪が広がります。
たんぽぽの集いHPはこちら
<http://www34.atwiki.jp/tanpopo/>

関東の学生囲碁界で行われている主要なイベントは以上です。

それぞれの大会情報を詳しく知りたい方は、関東学生囲碁連盟のサイトをご覧ください。
<http://kantol5renmei.ojaru.jp/>

北海道地区の活動

北海道地区で開催される大会について紹介します。

★新人戦

新人戦は5月の初め頃に行われる大会です。囲碁部入部から2年以内の選手のみ参加可能で、新入部員が他大学の選手と交流できる最初の機会です。また、ハンデ戦によって行われるので初心者でも楽しむことが出来ます。

★春季・秋季団体戦

12月末に行われる大学選手権への出場権を争う団体戦です。各大学5名(主将~五将)によるリーグ戦で、春と秋の2回行われます。近年は北大以外の参加校が少なく、もっと多くの大学の参加が望まれます。

★個人戦北海道予選

●学生本因坊戦:6~7月に行われます。上位二名は全国大会に出場することになります。

●女子学生本因坊戦:学生本因坊戦の女子バージョンです。参加者は少ないですが、他

大学の女子部員同士の数少ない交流の場となります。

●学生十傑戦:10月頃に行われます。高校生・大学院生も参加できる大会で、毎年、道内の腕自慢の高校生が参加しています。上位二名が全国大会へ出場となります。

●学生王座戦:北海道地区からは6名の選手がパンダネット上で行われるインターネット本戦に出場します。

2015年度の学生本因坊戦で伊藤優真さん(小樽商科大学)が優勝、十傑戦で近藤真生さん(北海道大学)が入賞されました。

★道新杯学生囲碁オープントーナメント

毎年1月に行われる大会で、道内の高校生・大学生・大学院生が参加できます。1位~3位の選手には表彰楯が贈られます。また、準決勝・決勝の棋譜は地方棋士の先生の解説付きで北海道新聞に掲載されます。

北海道は地理的条件のためか大会参加者が集まりにくいのが現状なので、興味のある方はぜひ大会等に参加して下さい。棋力向上に努め、交流を深めましょう。

北海道学生囲碁連盟ホームページ
<http://blog.livedoor.jp/hokuren/>

東北地区の活動

東北地区で開催されている大会について紹介します。

●学生本因坊戦

例年5月末から6月初旬に行っています。参加人数に応じて例年仙台・山形などで行っています。2日間にわたって対局をし、スイス方式で代表者3名を決定します。1日目の夜には大学間の交流会を開いています。

●女子学生本因坊戦

平成22年度から学生本因坊戦と同時開催になりました。スイス方式で代表者2名を決定します。女子だけの大会ということで、他

の大会とは違った雰囲気の中、各大学の選手同士交流を深めていました。

●学生十傑戦

例年9月末から10月初旬に岩手県北上市にて2日間かけて行います。学生棋戦で唯一大学生だけではなく、高校生からも参加できる大会で毎年熱戦が繰り広げられています。近年は、東北地区管内の強豪高校と密に連携を図り、参加人数が増加しております。

●学生王座戦

例年9月中旬から9月末にインターネット対局室のパンダネットにて行っています。2敗失格の変則トーナメントで代表者6名を決定します。

●大学選手権(団体戦)

団体戦は大学対抗でリーグ戦を行い、優勝チームを代表としています。東北地区は他の地区とは異なり、代表校を年に一回の一発勝負で決定しております。大会日程に余裕があれば、チームの組めない学校の選手や各大学のメンバーになれない選手を集めて混成チームを作り、オープン参加とした対局も設置しています。

東北地区は各大学が離れていることもあり、なかなか大学同士の交流の場がもてませんが、それぞれの大会を大切にしてお互いの親交を深められるように心がけています。

★東北地区学生囲碁連盟のHP

http://www.geocities.jp/tohoku_gakusei_igo_renmei/

大会日程や結果などを載せています。大会の質問などがありましたらHPからメールを送信してください。

北信越地区では年間3回大会を金沢市、松本市、富山市の3都市で行っています。春は5月の三連休に春季団体戦、学生本因坊戦予選、女子学生本因坊戦予選、四地区対抗戦予選を行います。夏は8～9月に学生十傑戦を行います。この大会のみ高校生や大学院生の参加が認められています。秋は10～11月

に秋季団体戦と学生王座戦予選を行います。

北信越地区の活動

春、秋の大会の夜に交流会を行い、参加者同士の親睦を図り、毎回楽しく食べたり、飲んだりしながら会話しています。大会参加者数は春、秋は30人程度、夏は15人程度ですのですぐに顔見知りになれると思います。徐々に人数が増えてきており、初めて参加したいという方も、また初心者の方、有段者の方までお待ちしておりますので気軽にその年の幹事に連絡よろしくお願いします。

今年度大会成績(各全国大会北信越地区代表)

・春季団体戦、秋季団体戦

優勝は金沢大学でした。春は金沢大学、信州大学、金沢工業大学、の3校で、秋は富山大学を混ぜた4校で総当たりリーグ戦を行いました。

・学生本因坊戦予選

3試合のスイス式リーグ戦を行い、予選進出者は、藤平琢磨(富山大学)、西村健太(金沢大学)でした。

・女子学生本因坊戦予選

トーナメントを行い、優勝は高須櫻(信州大学)でした

・学生十傑戦予選

トーナメントを行い、予選通過者は、藤平琢磨(富山大学)、中西恒輔(信州大学)でした。

・学生王座戦予選

4試合のスイス式リーグ戦を行い、予選通過者は、藤平琢磨(富山大学)、西村健太(金沢大学)、武智慎(信州大学)、知久喜明(信州大学)、坂野勇人(金沢大学)、高須櫻(信州大学)でした。

東日本大学OB・OG囲碁会として

ホームページ開設と 無料コミュニティサービス開始を計画

東日本大学OB・OG囲碁会では、会として情報を発信するホームページを開設しました。また、パンダネットと連携して、大学囲碁部OB・OG同士がネット上で対局や交流が楽しめる無料コミュニティサービスを推進していく運びとなりました。

現在、当会ホームページの公開を開始し、また近々無料コミュニティサービス開始する予定です。その際には、ぜひ活用してください。

無料コミュニティサービスについて

- ①時間や場所を気にせず、コミュニティ専用ルームでネット対局ができます。遠方の方との交流にも活用できます。
- ②希望する各大学OB・OG会は、専用のコミュニティページが持っていて、メール送信や掲示板機能が利用できるようになります。また、参加者同士の連絡やお知らせ、活動報告などができるようになります。
- ③現在、現役学生はパンダネットを無料で利用ではますが、卒業時に各OB・OGコミュニティに誘導してもらうことができます。
- ④専用ルームを使用してネット大会を実施することができます。また、各大学OB・OG会内だけでなく、他大学や現役との対抗戦もできます。

コミュニティ会員への登録の仕方

当会ホームページの「コミュニティ一覧」のページから、ご自身の大学OB・OG会のコミュニティ（注＝コミュニティを開設している場合）へのリンクをクリックし、登録を行います。

☆コミュニティに登録すると、ご自身の大学OB・OG会の専用ルームはもちろん、当会の専用ルームにも入室できるようになります。

※次ページで図解しています。

＜コミュニティ会員登録の手順＞

- ① ID登録ページにアクセスし、必要項目を入力し送信します。
- ②登録したアドレスに会員番号ID・パスワードが届きます。なお、ネット対局場に接続するための対局のソフトは、ボタン1つでインストールできます。
- ③対局のソフトは、パソコンのデスクトップにアイコンが表示されます。それをクリックするとソフトが起動できます。無料対局は、専用ルームで対局することになります。

出身大学* 大学
学部・学科* 学部
入学年度 年 月 入学
ご氏名* 姓 名
ふりがな* 姓 名
性別 男性 女性
生年月日* 年 月 日 生まれ
メールアドレス*
メールアドレス(確認用)*
ご希望のID*
棋力*

東日本大学OB・OG囲碁会 コミュニティ登録する (無料)

● 東日本大学OB・OG囲碁会 コミュニティ登録 ●

東日本大学OB・OG囲碁会コミュニティの会員登録が完了しました。
この情報は、ホームページなどで東日本大学OB・OG囲碁会コミュニティにアクセスする際に
必要となりますので、印刷してお手元にお持ちください。

メールアドレス ●●●●●●●●
会員番号 ●●●●●●●●
ユーザーID ●●●●●●●●
パスワード ●●●●●●●●

1.こちらから専用ソフトをインストール
2.この情報を対戦ソフトに設定する



●ご自身の大学のコミュニティがない場合●

☆東日本大学OB・OG囲碁会正会員校・準会員校に所属の方
ご自身の大学OB・OG会幹事にお問い合わせください。各OB・OG会が希望すれば、コミュニティを新設できます。

☆正会員校、準会員校以外の方

希望すれば、「コミュニティ一覧」ページから、東日本大学OB・OG囲碁会本体のコミュニティに参加することができます。

●すでにパンダネットのIDを持っている場合●

各大学OB・OG会のコミュニティページの右上にある「このコミュニティに参加する」ボタンを押し、参加申請を行ってください。その後、コミュニティページに戻り、画面左の「メッセージを送る」を選択し、参加希望の旨とご自身の氏名・学部・卒業年等を記入して送信してください。各コミュニティの班長にメッセージが届きます。

なお、正会員校・準会員校でコミュニティがない場合は、上記と同様、各大学OB・OG会の幹事に問い合わせてください。もし、東日本大学OB・OG囲碁会本体のコミュニティに参加する場合も、上記と同様です。

－有料会員サービスについて－

コミュニティ会員は、各大学OB・OG会と東日本大学OB・OG囲碁会内のみで無料で対局できます。有料会員になった場合は、以下のサービスを追加で受けることができます。

①パンダネットの一般対局室が利用できるようになり、世界約150カ国・地域の約10万人の囲碁ファンと対局が楽しめます。

②パンダネットで行っている大会や各種イベントへ参加ができます。

例) 月例会、ネット棋聖戦、プロ棋士対面指導碁会など。

③学習コンテンツを棋力向上に活用できます。

④団体特別割引で、通常のパンダネット会員より料金が1割引になります。

(注)④は、ご自身の大学OB・OG会の囲碁サロンがある場合に限りです。

有料利用を希望する場合は、パンダネットまで問い合わせてください。

●パンダネット○

TEL0120-17-1536 (平日・土日 10時～12時30分/13時30分～17時)

HP : <http://www.pandanet.co.jp/>

－東日本大学OB・OG囲碁会のホームページの紹介－

東日本大学OB・OG囲碁会のホームページでは、下記のような情報を発信していきます。

☆各イベントの結果

☆会誌「石の響」最新号

☆正会員校・準会員校、および東日本地域らある大学出身棋士の名簿

☆その他



東日本大学OB・OG囲碁会のホームページ

<http://www.pandanet.co.jp/a/ej-u/>

東日本大学OB・OG囲碁会のコミュニティやホームページについての問い合わせは、同ホームページのメールフォームから、または以下の担当幹事まで。

[左合 比登史] hitoshi-sago@ab.auone-net.jp

[今井 速人] hiami@jc4.so-net.ne.jp

[内藤 由起子] nayuki@tsubasa.com

大学囲碁授業一覧（2015年10月現在）

2005年に東京大学で始まった、大学での囲碁授業は、2015年現在、22校まで増え、1年で1,118人が受講し、碁が打てるようになっています。

囲碁の効用は、一般にも認知されつつあります。まだ実施されていない大学に導入されるよう、日本棋院が力を入れています。大学関係者にご縁があるかたは、ぜひ下記担当者にご連絡いただきたくお願いいたします。

一校でも多く囲碁の授業を導入し、囲碁人口を増やしていきましょう。

大学名	授業名	主な担当棋士
東京大学	「囲碁で養う考える力」	石倉昇九段、黒瀧正憲八段、吉原由香里六段
東邦大学	「情報理化学実験2A」	岡田伸一郎八段岡田結美子六段、吉原由香里六段
早稲田大学	「囲碁で学ぶ数理学入門」グローバルエデュケーションセンター	黒瀧正憲八段
慶応大学	「囲碁」	吉原由香里六段、孔令文七段
皇学館大学	伝統の心と技	水戸夕香里三段
青山学院大学	「囲碁で養うロジカルシンキング」	桑原陽子六段
埼玉大学	「スポーツで養う思考力」	酒井真樹八段
琉球大学	「囲碁の世界」	有村比呂司八段（2012年度）、高野英樹七段（2013年度）、安藤和繁四段（2014年度）、松本武久七段（2015年度）
東京工業大学	「囲碁で学ぶ実践力」	原幸子四段久保秀夫六段
筑波大学	「囲碁で培う思考力」	前田良二七段
江戸川大学	「情報文化特講Ⅰ」	三村芳織三段（Aクラス）、長島梢恵二段（Bクラス）
近畿大学	「スポーツマネジメント課 講座」	古家正大四段
京都大学	知識の修得と活用ーそのメカニズムを検証してみようー	大橋成哉七段（関西総本部）、坂井秀全八段（関西棋院）
名古屋大学	「囲碁の世界」	高橋真澄二段
福山大学	「囲碁から学ぶ人間学」	山本賢太郎五段
一橋大学	「囲碁ー文化としての戦略思考」	桂篤五段
神奈川大学	「日本の伝統文化と地域連携」	青木紳一九段
大阪大学	コンピューターを活かす論理的思考を「囲碁」で養おう	水戸夕香里、三段岩丸平六段（ともに関西総本部）
福島大学	「囲碁の世界」	宮崎龍太郎七段
日本農業経営大学校	「囲碁」	矢代久美子六段
東京学芸大学	学芸フロンティアA	穂坂繭三段
熊本学園大学	公開講座「囲碁の世界ー日本の伝統文化を楽しむー」	久保秀夫六段、前田良二七段他、地元アマ講師
九州大学	囲碁で養う考える力	吉原由香里六段他、地元アマ講師

新宿囲碁センター

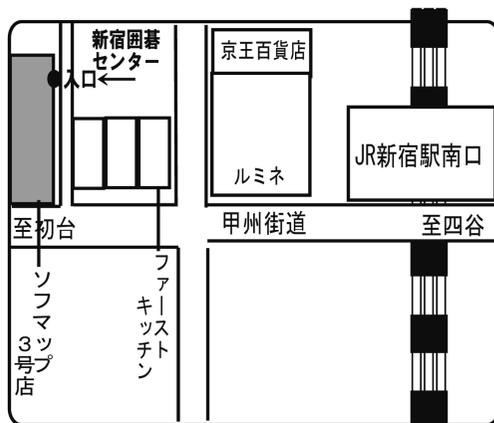
◆営業時間◆

平日 正午～午後9:00
日曜・祝日 午前11:00～午後8:00

◆入場料◆

一般 1200円 女性・学生 1000円
団体割引 5名様以上 1000円
夜間割引 800円

同好会、OB会、研究会など団体
のご利用をお待ちしております。



160-0023 新宿区西新宿1-18-6 西新宿ユニオンビル10F
(新宿駅南口徒歩2分) (甲州街道沿い、1階ソフマップ3号店上)

電話 03-3349-4977

代々木

金井こども 囲碁教室

人生の友として
囲碁を学びましょう
楽しみましょう

●囲碁教室開催日

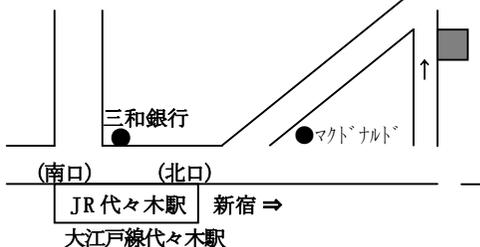
火曜・金曜・土曜コース

渋谷区代々木1-58-7
ヴェラハイツ代々木 404
TEL03-3379-5349

☆詳しいことは、電話でお問い合わせく
ださい

案内図

山手線代々木駅北口より徒歩1分
大江戸線代々木駅より徒歩1分



貸し切り利用に

席数 通常 21面 (最大25面)

1日利用 (8時間まで)	半日利用 (4時間まで)
¥63,000-	¥42,000-

本榎蛤碁石使用、解説用大盤、対局時計、常備個室あり。懇親会も行えます。(料金要相談)



囲碁合宿や大会に

盤石リース 一寸盤 ¥750~

二寸盤、足付盤、対局時計、解説大盤など多数揃えています。
数量が多い場合は割引いたします。



ダイヤモンド囲碁サロン
03-3263-0620

(URL) <http://www.dis15.com/> (mail) diamond@mrg.biglobe.ne.jp

仕出し、弁当、オードブルなど
ご予算に応じて予約を承ります



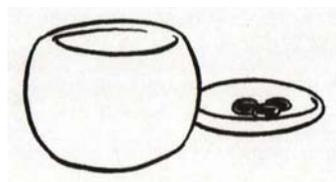
中野本店

TEL 03-3387-0200

担当=宇田川

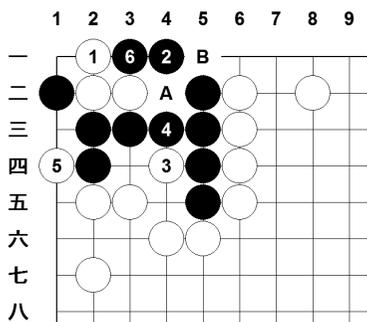
〒164-0001

東京都中野区中野 5-61-6



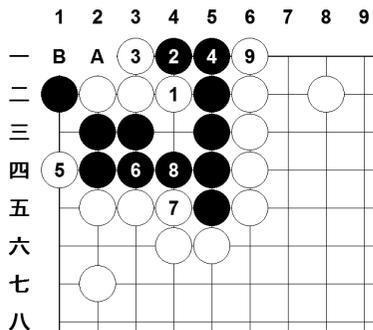
白1と打つのは、黒6までセキ。白3でAと打つのは黒Bで生き。

参考図



白9の後、黒がAと打てばコウ。白がAに打てばセキ、Bに打てばコウ。

表紙の問題の解答



編	集	後	記
---	---	---	---

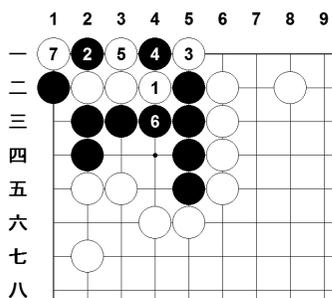
◆今回こそ、早目に編集作業に入ろうと思っていましたが、ギリギリの進行になってしまいました。日程があまり無い中で、編集・校正に協力してくださった方々に感謝します。(左合)

◆大学での囲碁授業は人気ですが、用具や場所の関係もあり、受講希望者の多くを断っているようです。なんともったいない。なんとか対策はないのでしょうか。(内藤)

◆このところ、ネット碁を打つと目の疲れを感じるように。そんなときはホットケーキにたっぷりのブルーベリージャムを載せて。紅茶は砂糖を入れないほうが最近の好みです。(今井)

白1のとき黒2と打つのは、白3以下7までコウ

変化図



■題字の「石の響」は、書家の廣瀬菊雄氏に書いていただきました。

■本文中のイラストは、竹本健治さん(東洋大学OB)に描いていただきました。

■表紙の問題の出題者は、「石の響」編集委員会です。

「石の響」編集スタッフ

左合 比登史(東洋大)
内藤 由起子(お茶の水女子大)
今井 速人(千葉大)

「石の響」第8号

2016年1月17日発行

【印刷】ユーコン企画

【発行】東日本大学OB・OG囲碁会



名誉アマ本因坊・元アマ名人の
中園清三が支配人を務める
池袋サンシャインシティ
 直営の囲碁サロン

【名誉アマ本因坊】
【元アマ名人】
中園 清三 支配人
 による指導碁も!

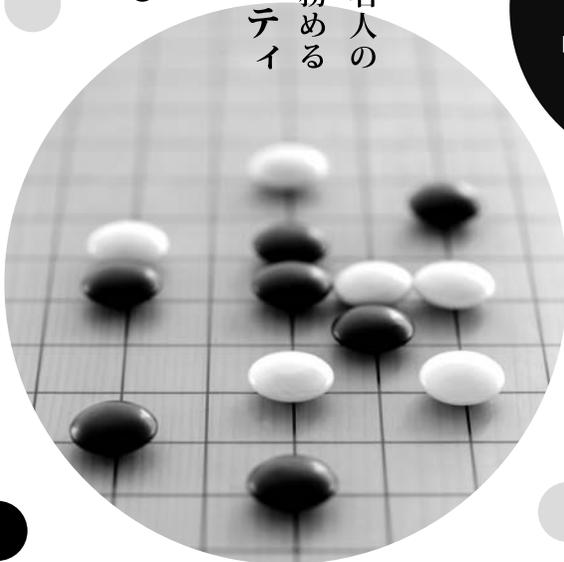
レベル別
 (初心・初級・中級者)
 勉強会

ネットで
 海外の方とも
 対局可能

プロ棋士
 による
 指導碁

お子様・
 会員様向け
 イベント開催

水曜日は
 レディースデー



料金表	年会費	1日席料	2時間席料
ビジター (非会員)		1,600円	1,400円
個人会員	2,100円	1,300円	1,100円
家族会員	1,050円		

- 70歳以上の方、当サロン会員様のご同伴のビジターの方は2時間席料で終日ご利用いただけます。
- 団体割引や回数券ほか割引・優待制度あり。

女性・学生・外国籍の方 **半額**
 席料および個人会員の年会費

本紙をお持ちいただくと、1日席料無料ご招待! 有効期限2016年6月末日まで
 ※お一人様一回限り有効

囲碁サロン営業時間 (定休日:年末年始)

平日・土曜 12時～21時
 日曜・祝日 12時～20時 ※最終入場は終了1時間前

アクセス

- ◎池袋駅から徒歩8分
- ◎東池袋駅(東京メトロ有楽町線)から徒歩3分

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル9F ☎03(3989)3515

詳しくはウェブサイトをチェック!

サンシャインシティ 囲碁サロン

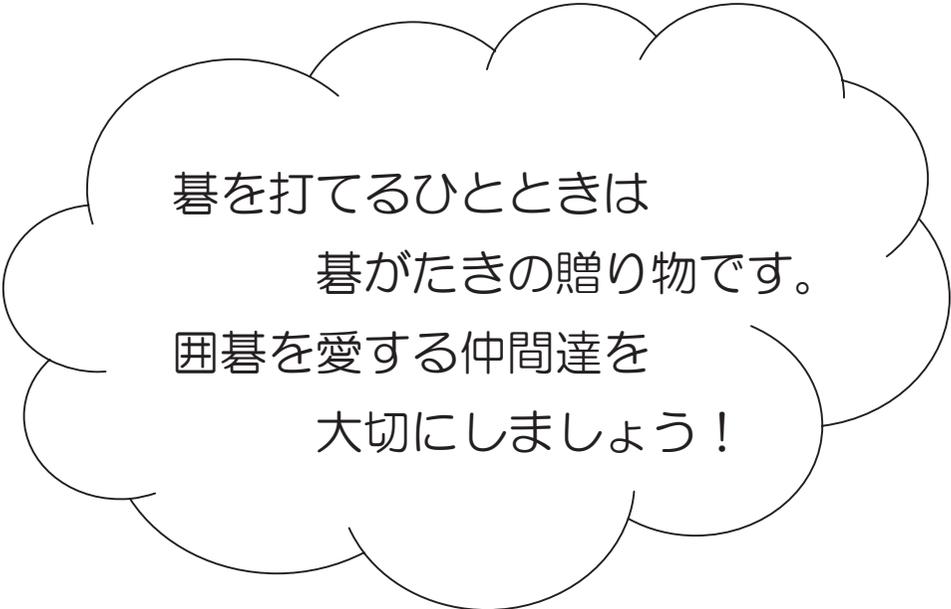
検索



Sunshine city

※記載内容が変更になる場合もございます。予めご了承ください。
 ※価格はすべて税込表示です。店頭・施設で表示されている価格が税別の場合がございます。

サンシャインシティ
囲碁サロン



碁を打てるひとときは
碁がたきの贈り物です。
囲碁を愛する仲間達を
大切にしましょう！

協賛：囲碁ネット「サンサン」
<http://www.sansan.co.jp/>